



# KSW-BP860i バーコードプリンタ 取扱説明書



**株式会社 システムウェーブ**

# 目次

<b>1</b>	<b>プリンタの準備</b>	<b>001</b>
1.1	梱包内容の確認	001
1.2	プリンタ各部の名称	002
<b>2</b>	<b>プリンタの設定</b>	<b>006</b>
2.1	プリンタの使用方法	006
2.2	リボンのセット	007
2.3	ラベルのセット	012
2.4	コンピューターとの接続	014
2.5	プリンタドライバのインストール	016
<b>3</b>	<b>プリンタの操作</b>	<b>018</b>
3.1	オペレーションパネル	018
3.2	タッチパネル操作方法	019
3.3	タッチパネル機能一覧	024
3.4	キャリブレーションとセルフテスト	029
3.5	エラー警告	031
3.6	USBホスト	033
<b>4</b>	<b>ネットワークの設定</b>	<b>035</b>
4.1	ネットワーク設定ツールのインストール	035
4.2	ネットワーク設定ツールの使用方法	036
<b>5</b>	<b>オプション</b>	<b>043</b>
5.1	オプション部品取付作業の前に	043
5.2	剥離ユニットの取り付け	045
5.3	カッターユニットの取り付け	051
<b>6</b>	<b>メンテナンス</b>	<b>055</b>
6.1	サーマルヘッドの交換	055
6.2	トラブルシューティング	056
	<b>付録</b>	
	製品仕様	
	インターフェイス仕様	
	USBメモリ使用時のコマンド操作	

## ご使用の前に必ずお読みください。

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
この取扱説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。  
ご使用の前にこの取扱説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。

- ご使用前に必ず本書をよくお読みください。読み終わった後は大切に保管し、必要な時に読み直しできるようにしてください。
- 本書の内容は、予告なく変更されることがあります。
- いかなる手段によっても、本書の内容を無断で転写・転用・複写することを禁じます。
- 本書の運用結果につきましては、内容の記載漏れ・誤り・誤植等にかかわらず、当社は一切責任を負いかねます。
- 本書に指定されている製品以外のオプションや消耗品を使用した場合、その結果として発生したトラブルにつきましては、当社は一切責任を負いかねます。
- 本書で指示している部分以外は絶対に手入れや分解、修理を行わないで下さい。
- お客様の誤った操作や取り扱い方法、使用環境に起因する損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- データなどは基本的に一過性のものであり、長期的、永久的な記憶、保存はできません。
- 故障、修理、検査などに起因するデータ損失の損害および損失利益などについては、当社は一切の責任を負えません。予めご了承ください。
- 本書の内容についての記載漏れや誤り、不明な点などございましたらご連絡ください。

## 国外に持ち出す場合の注意について

この製品は、日本国内においてご使用いただくことを前提に製造、販売しております。  
したがって、国外に持ち出してご使用になる場合の保守サービスは、お引き受けできません。  
また、国外の法規制による処罰・事故その他の不具合について、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

## 安全上のご注意

**以下の事項は本機が破損もしくは故障したり、加熱・発煙する恐れがあり、  
火災・感電の原因となりますので絶対に行わないでください。**

**破損・故障した場合は電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。**

- 本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど強い力や衝撃を与えないで下さい。
- 通気性の悪い場所への設置や本機の開口部をふさぐような使用はおやめください。
- 実験室など化学反応を起こすような場所、空気が塩分やガスを含んでいるような場所への設置はおやめください。
- 指定された電源電圧、周波数以外使用しないで下さい。
- 電源コード、インターフェイスケーブルに重さがかかる状態で本機を引っ張ったり、持ち運んだりしないでください。
- 本機内にクリップ、虫ピン等の異物を落としたり、入れないようにしてください。
- 電源コードのタコ足配線をしないでください。
- 本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲み物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないで下さい。  
水などをこぼした場合は、電源を切り電源コードをコンセントから抜き、販売店にご連絡ください。
- 本機の分解、改造を行わないでください。

## 一般注意事項

**本機を快適にご使用いただくために、守るべき注意事項です。必ずお読みください。**

- プリンタ内部にクリップ、ピンのような物を落とさないように注意してください。故障の原因となります。
- 本機の移動、持ち運びには十分注意してください。落下させると身体や他のものを傷つける恐れがあります。
- カバーを開けた場合には、完全にプリンタカバーを開けてから作業をしてください。  
プリンタカバーが閉じて身体などを傷つける恐れがあります。
- カバーを開けた状態の時にはプリンタカバーに注意してください。エッジなど身体を傷つける恐れがあります。
- 印字中にプリンタカバーを開けないで下さい。
- 本体ケース表面を清掃する場合、シンナー、トリクレン、ベンジン、ケトン系溶剤や化学ぞうきんなどは使用しないでください。
- 油、鉄粉、ごみ、ほこりなどの多い場所での使用は避けてください。
- 本機に液体をこぼしたり、薬剤を吹きかけたりしないでください。
- 本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど強い力や衝撃を与えないでください。
- コントロールパネル部の操作は丁寧に行なってください。乱雑な操作は故障、誤動作の原因になります。  
また、ペン先などの鋭利なものでの操作は絶対に行なわないでください。
- 使用中に異常が発生したら、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 故障の時は本機の分解を行わず、必ずサービスマンにお任せください。

## 設置上の注意事項

- 気や水気のある場所、直射日光の当たる場所、暖房器具や熱器具のそば等、温度の異常に高い場所、低い場所、湿気やほこりの多い場所でのご使用、保管はしないでください。
- 実験室など化学反応を起こすような場所に設置しないでください。
- 空気が、塩分やガスを含んでいるような場所には設置しないでください。
- プリンタは水平で安定した卓上で、通気性の良い所に設置してください。  
(開口部は壁等で絶対に塞がないように注意してください)
- 本機の上に物を載せないでください。
- ラジオやテレビの近くで使用したり同じコンセントを使用したりしますと受信障害の原因となることがありますので、注意してください。
- 指定された電圧、周波数以外で使用しないでください。
- 電源コード、ACアダプターは、必ず付属のものを使用してください。  
また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり踏んだりしないでください。
- 電源コードまたはインターフェイスケーブルを持って本体を引っ張ったり、持ち運びしないでください。
- 電源コードのタコ足配線は避けてください。
- 電源コードを束ねて使用しないでください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行なってください。
- コネクタの接続は確実に行なってください。特に極性が逆に接続されると、内部の素子が破壊されることがあります。
- インターフェイスケーブルの取り付けや取り外しは、必ず電源スイッチをOFFにしてから行なってください。
- 信号線を長く配線したり、ノイズの多い機器と接続したりすることは極力避けてください。  
やむをえず配線する時は各信号毎にシールド線、ツイストペア線などを使用するよう十分な対策をしてください。
- 機器の近くにコンセントがあり、かつそのコンセントから電源プラグを抜き、容易に電源を遮断できるように設置してください。
- コンセントは、アース端子止めネジ付タイプを使用してください。使用しないと、静電気でケガをする恐れがあります。
- バッテリーを交換する際は推奨するバッテリーと交換してください。正しく行なわなかった場合、故障の原因となる可能性があります。

# 1 プリンタの準備

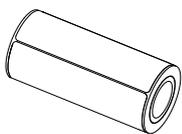
## 1.1 梱包内容の確認

プリンタ本体と下記の付属品が全て揃っていることをご確認ください。

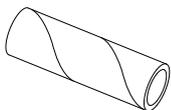
- バーコードプリンタ本体



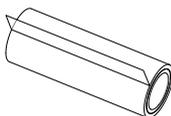
- テスト用ラベル



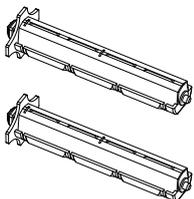
- 巻取りリボン紙管



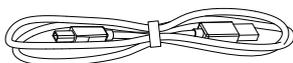
テスト用リボン



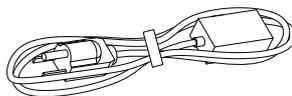
リボン軸  
2つ



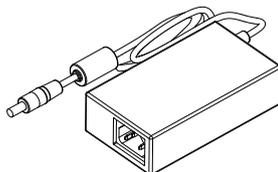
- USBケーブル



- 電源ケーブル



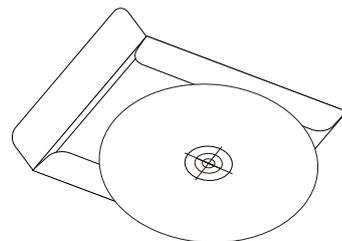
ACアダプター



- クイックガイド



- インストールCD

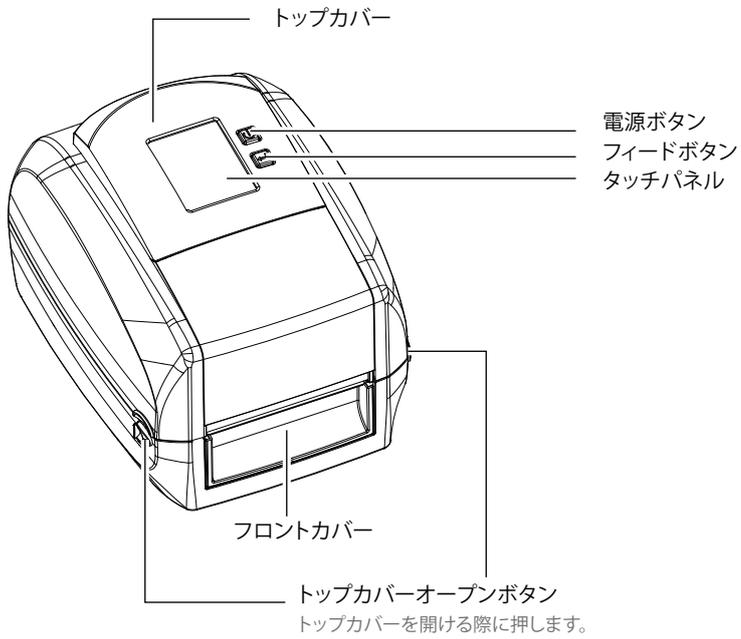


# 1 プリンタの準備

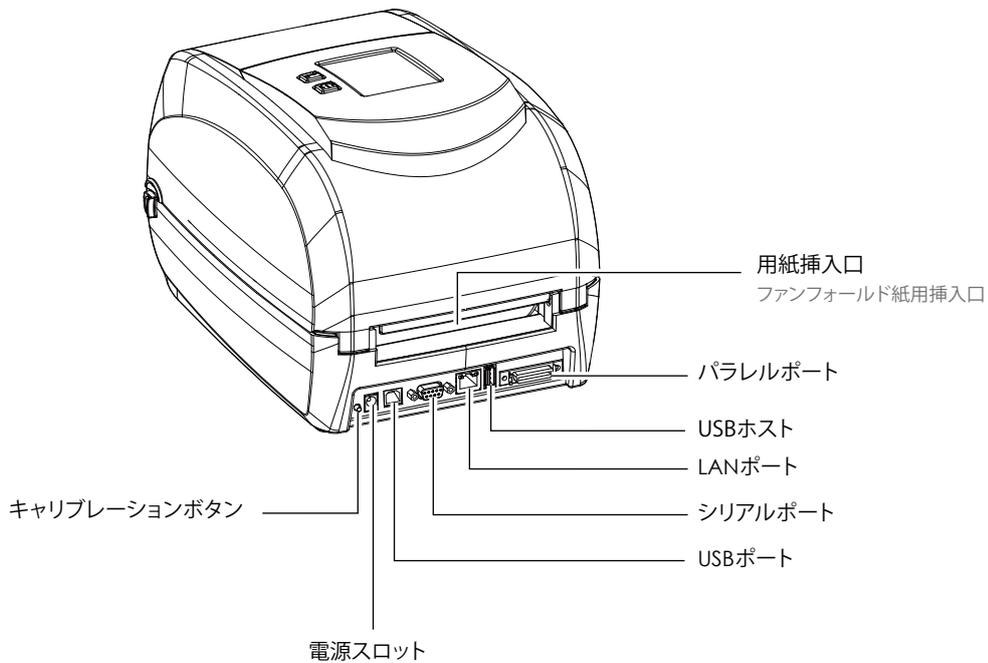
## 1.2 プリンタ各部の名称

### 外観

- 本体前面

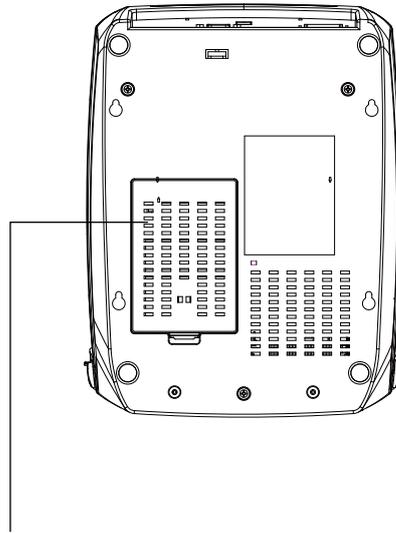


- 本体後面



# 1 プリンタの準備

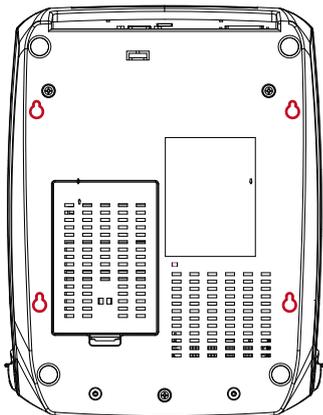
- 本体底面



オプションジャックカバー

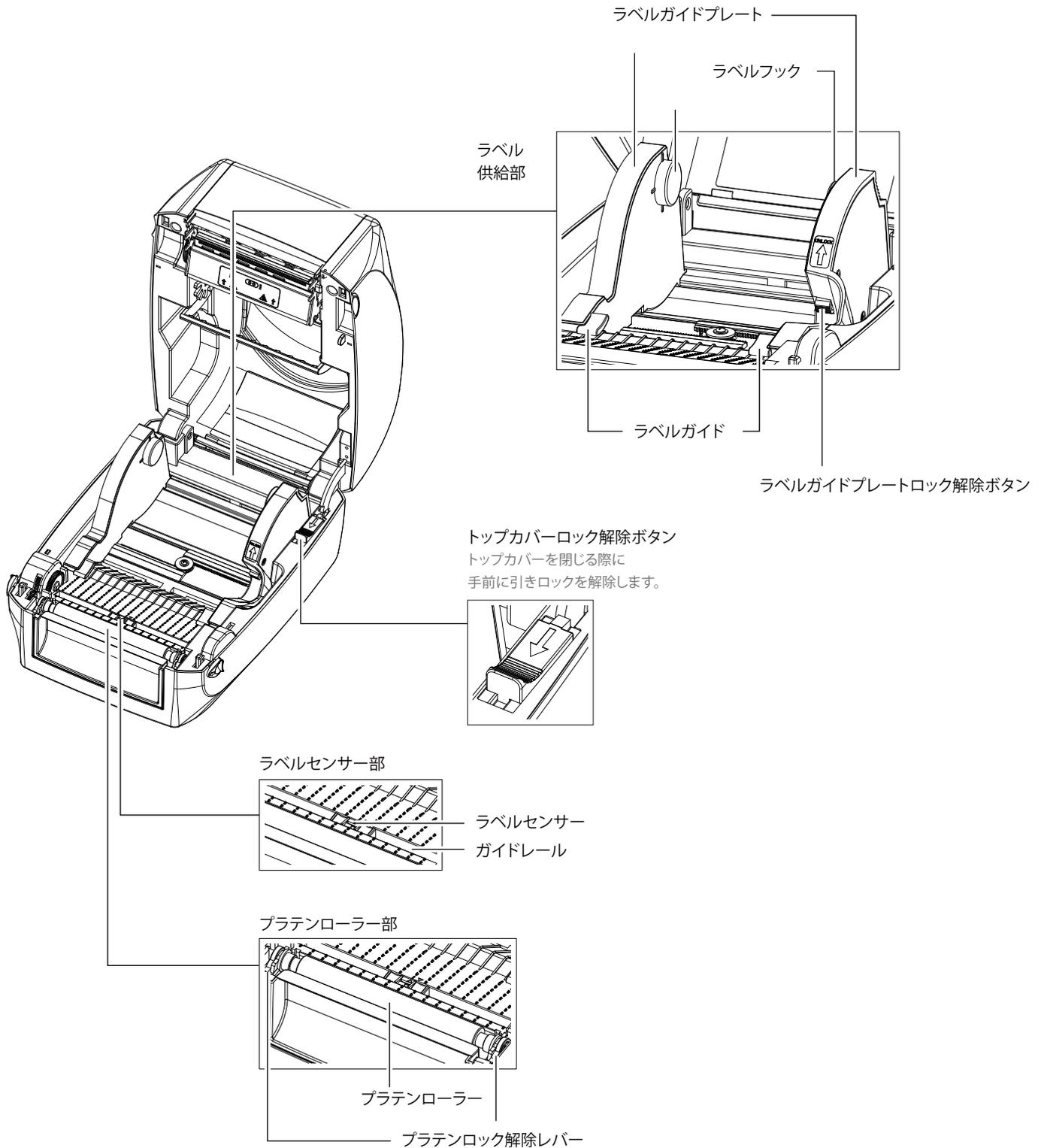
## 注意

- \* 底面の穴は壁掛け用ではありません。



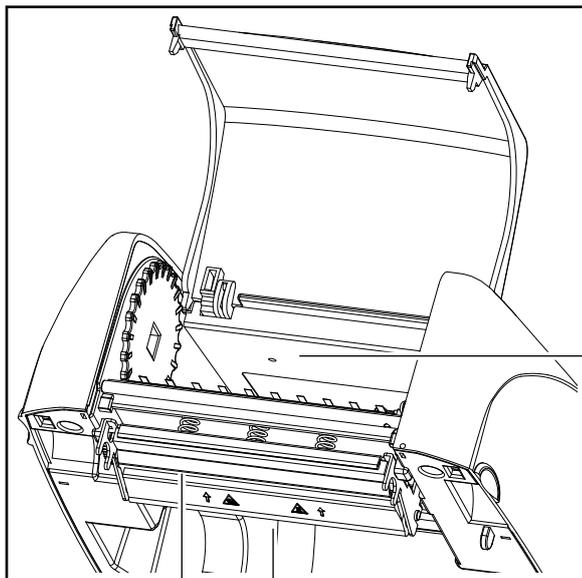
# 1 プリンタの準備

プリンタ内部

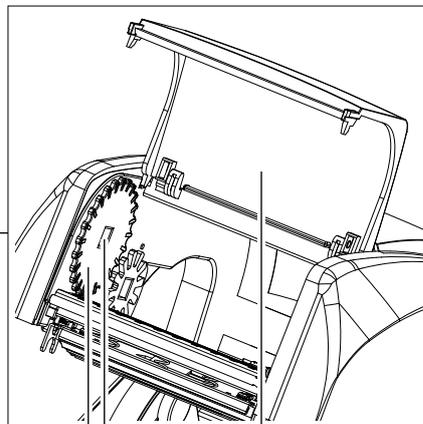


# 1 プリンタの準備

## メカニズム



リボン巻取り側メカニズム

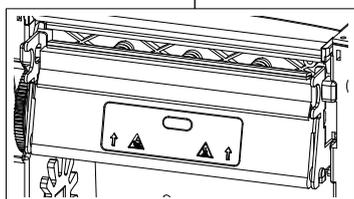


リボンカバー

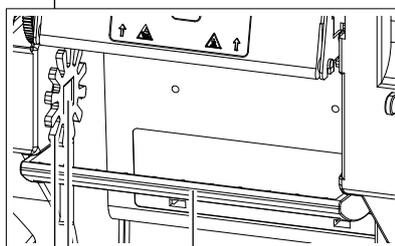
リボン巻取り側ノッチ

リボン巻取り側ダイヤル

サーマルヘッド



リボン供給側メカニズム



ペーパーガイドバー

リボン供給側ノッチ

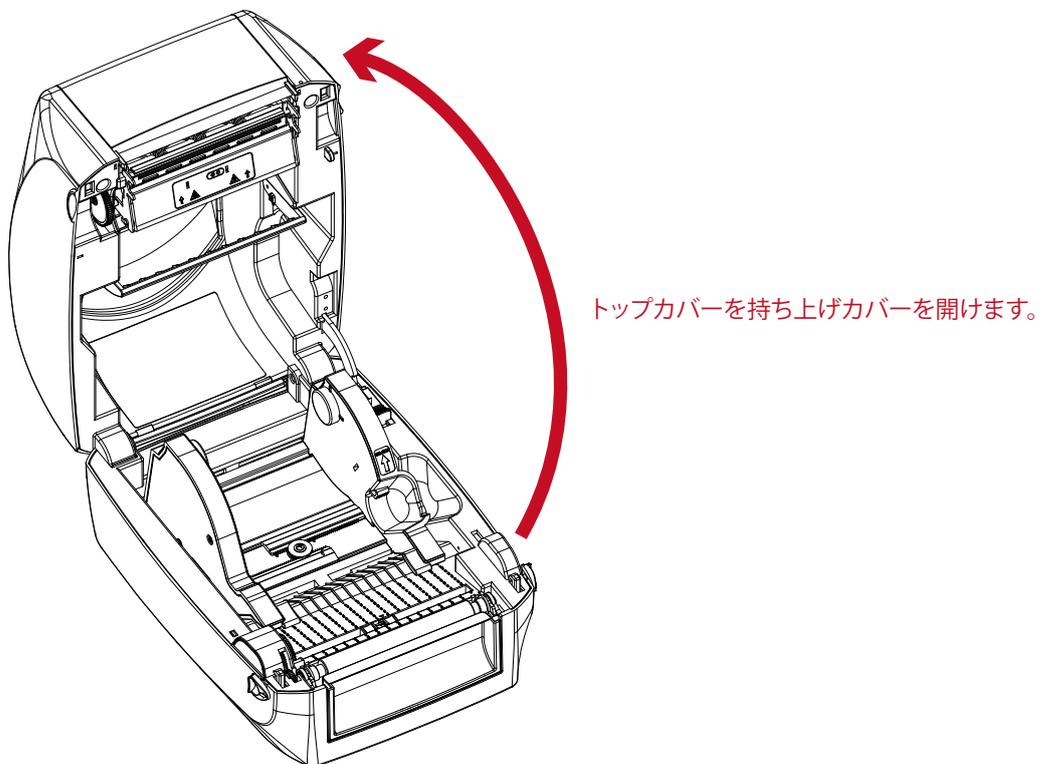
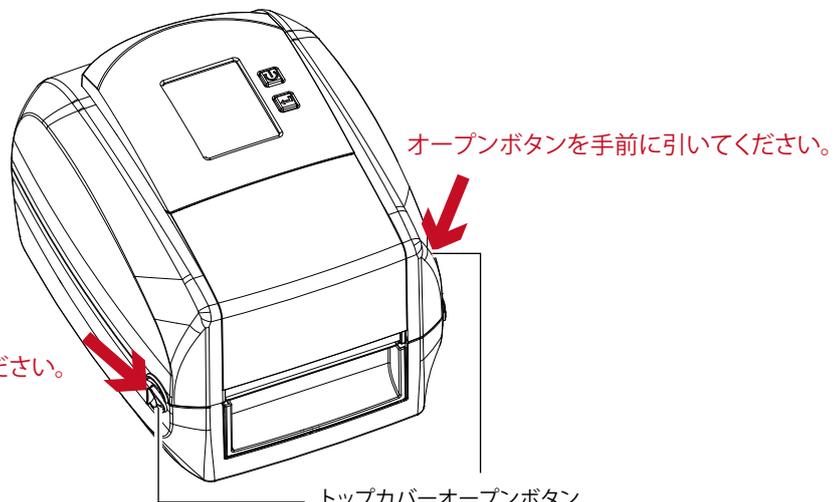
リボン供給側ダイヤル

## 2 プリンタの設定

### 2.1 プリンタの使用方法

#### トップカバーの開け方

プリンターを平らな場所に置き、トップカバーを開けてください。



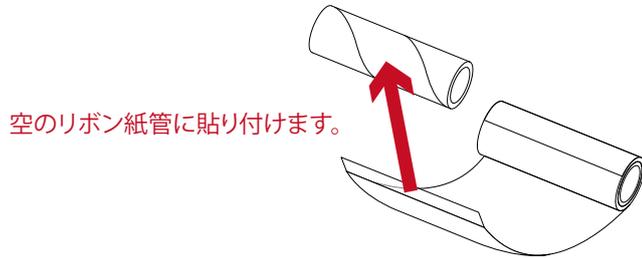
## 2 プリンタの設定

### 2.2 リボンのセット

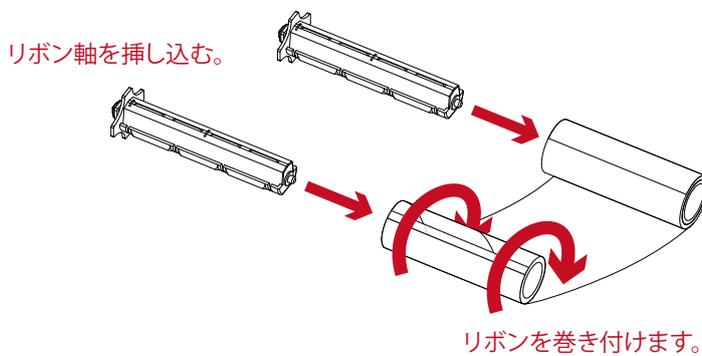
リボンのセット方法



1. 新しいリボンをリボン紙管に取り付けます。

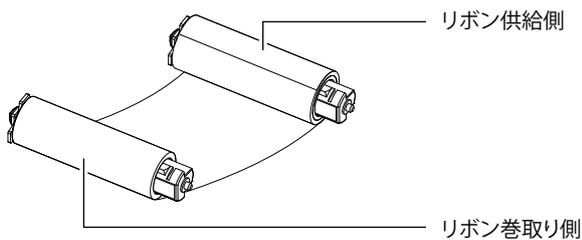


2. リボン軸を新しいリボンと空のリボン紙管にそれぞれ挿し込みます。  
そして、空のリボン紙管にリボンを巻き付けます。



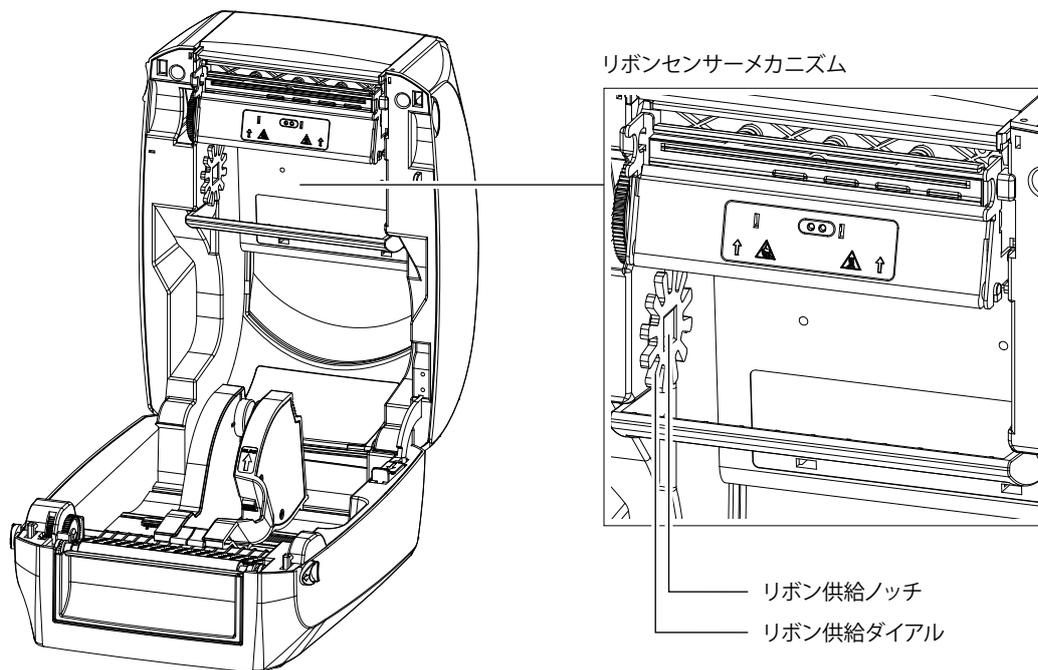
3. リボンは下記のようにセットします。

新しいリボン

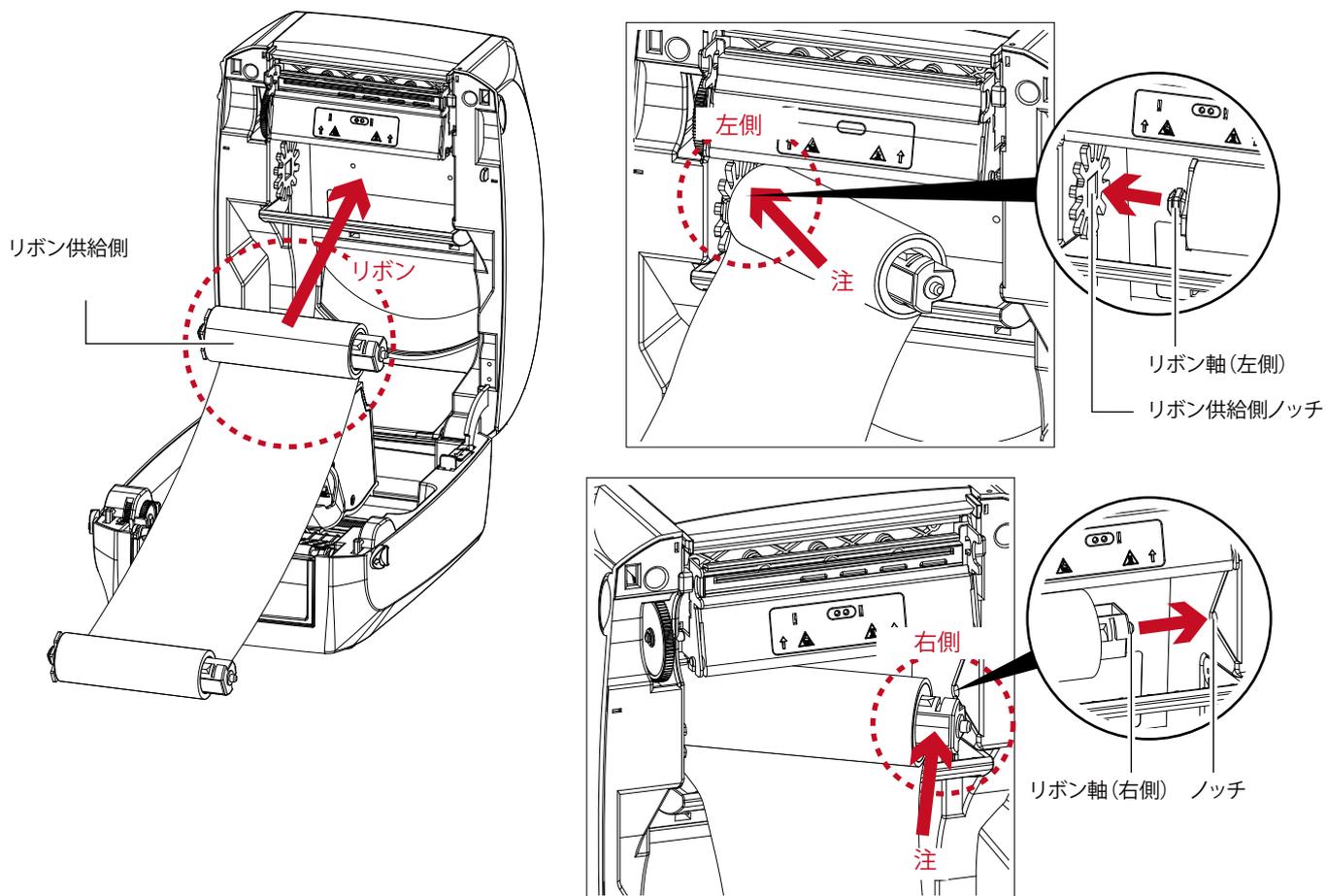


## 2 プリンタの設定

### リボン供給側

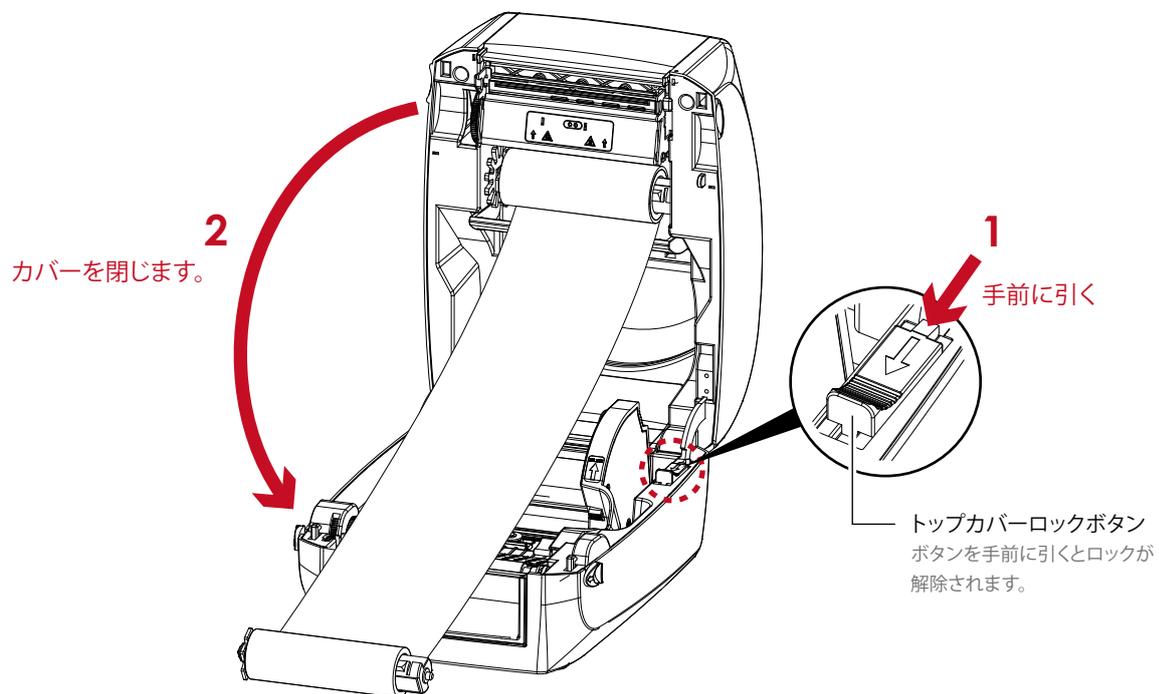


1. 供給側のリボンのセットは、最初に左側のリボン軸をリボン供給側ノッチにはめ込みます。リボン供給ダイヤルにリボン軸がしっかりと取り付けられているか確認して、リボン軸の右側を同様にノッチにはめ込みます。

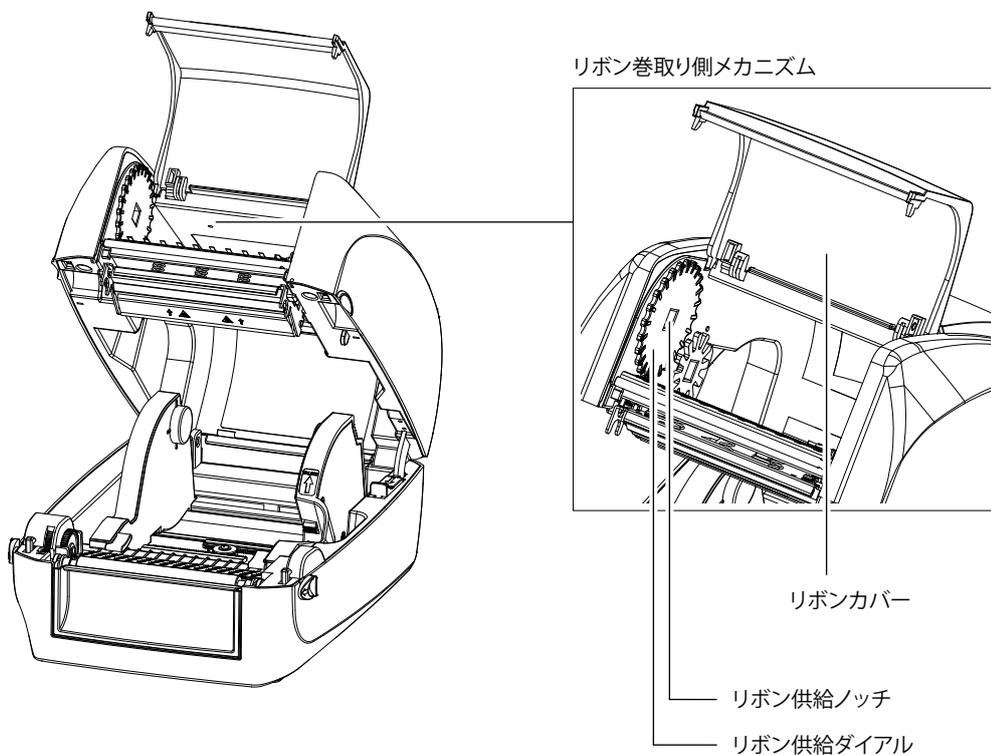


## 2 プリンタの設定

2. トップカバーロック解除ボタンを押して、トップカバーを閉じてください。  
これでリボン供給側の取り付けは完了です。

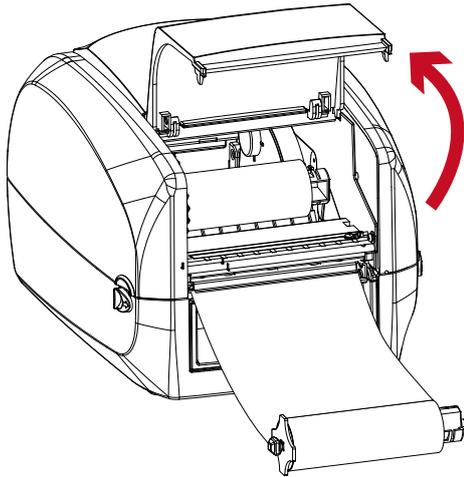


リボン巻取り側



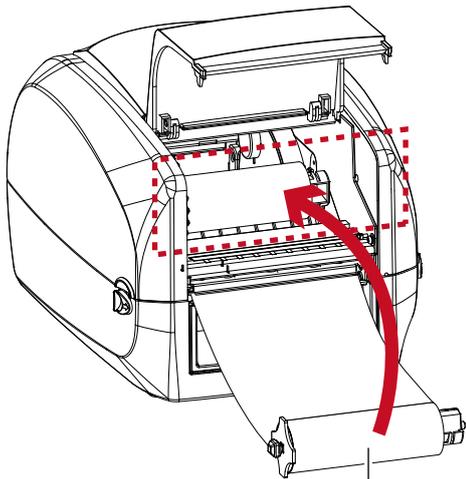
## 2 プリンタの設定

1. リボンカバーを開けます。

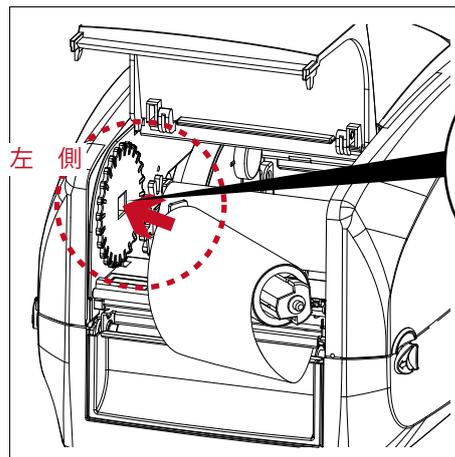


カバーを開ける。

2. 巻取り側のリボンセット方法は、最初に左側のリボン軸をリボン巻取り側ノッチにはめ込みます。リボン巻取りダイヤルにリボン軸がしっかりと取り付けられているか確認して、リボン軸の右側を同様にノッチにはめ込みます。



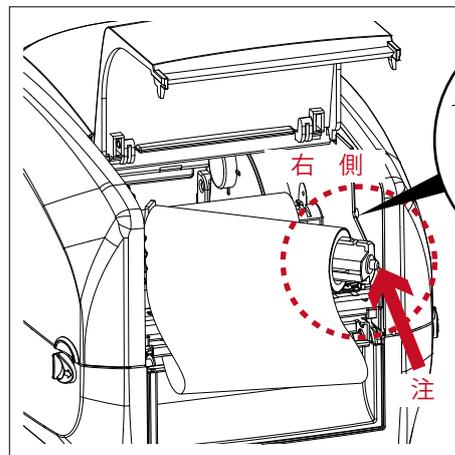
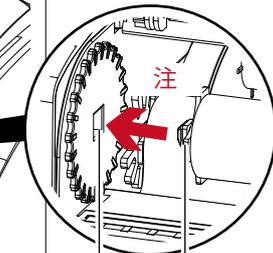
巻取り側リボン



左側

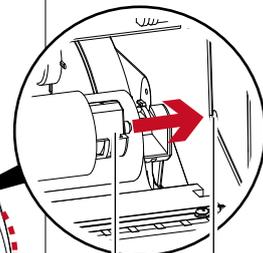
リボン軸(左側)

リボン巻取り側ノッチ



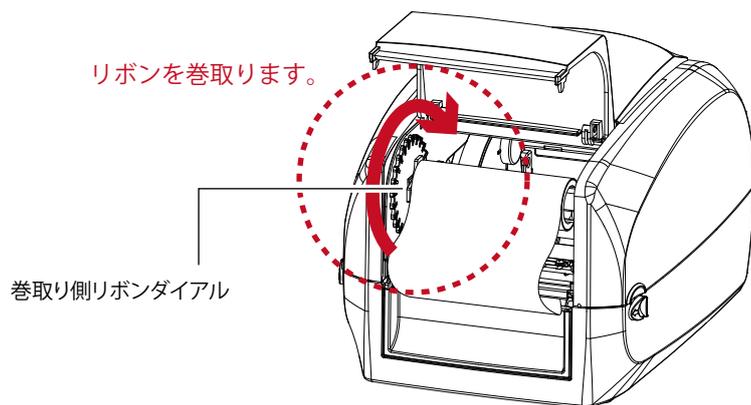
右側

リボン軸(右側) ノッチ

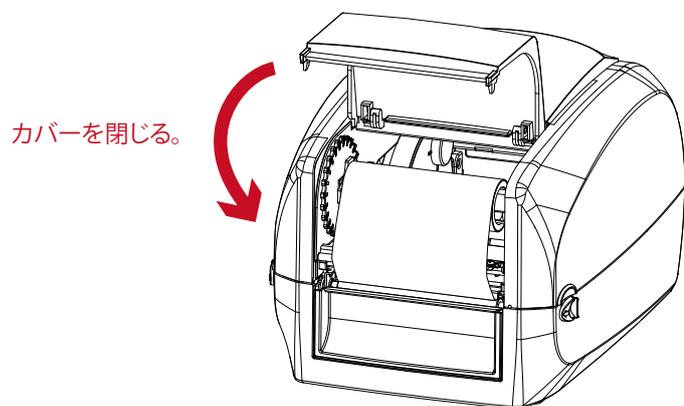


## 2 プリンタの設定

3. 巻取り側リボンダイアルを回し、リボンのたるみやしわを無くしてください。



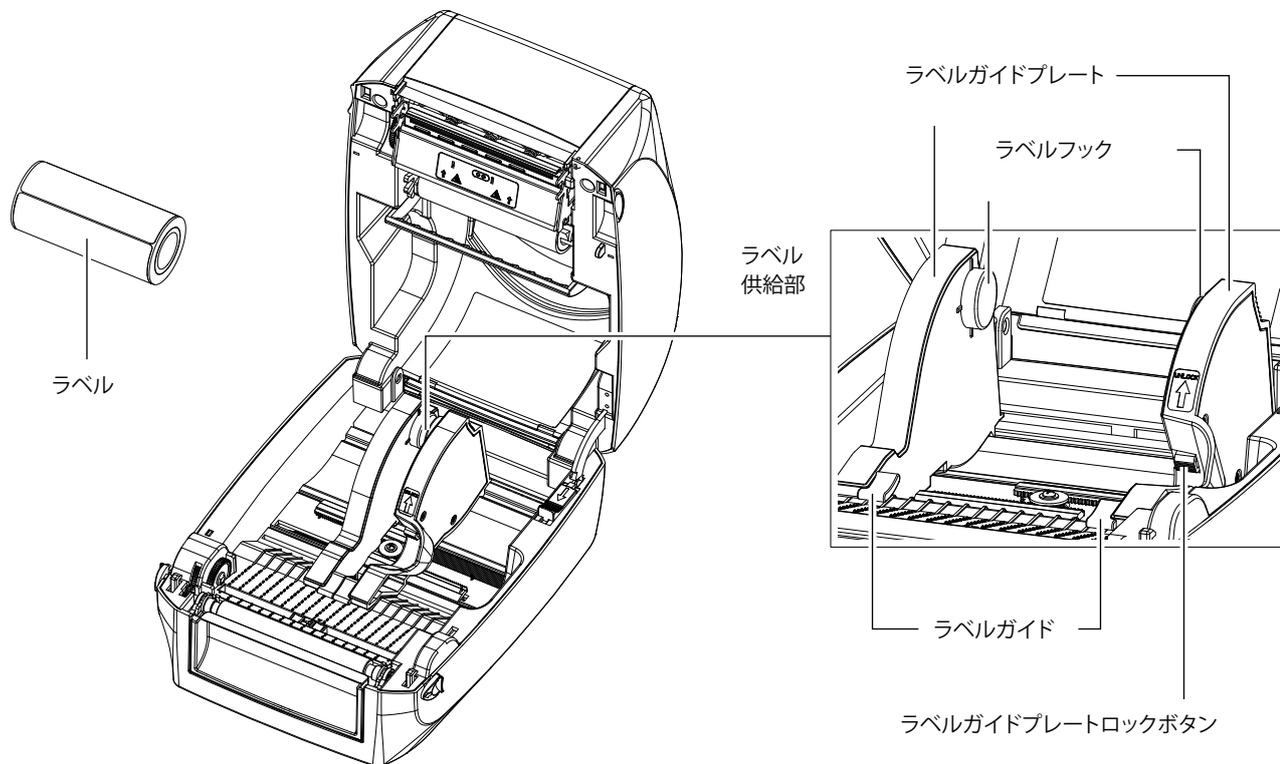
4. リボンカバーを閉じます。  
リボンのセットは完了です。



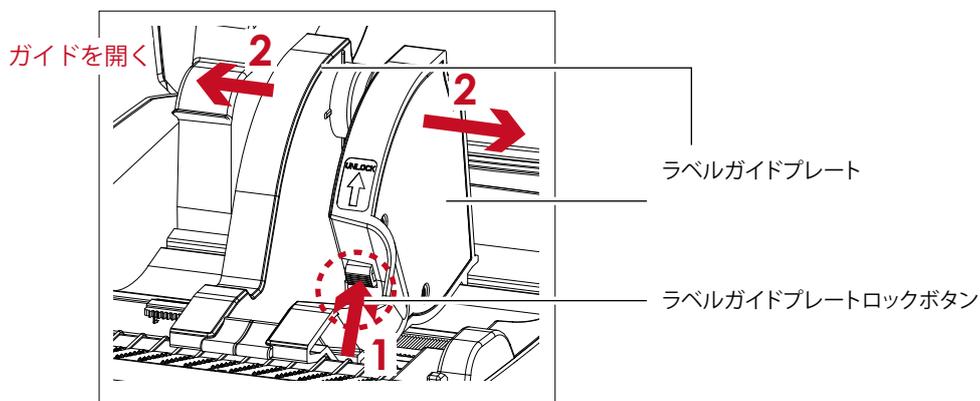
## 2 プリンタの設定

### 2.3 ラベルのセット

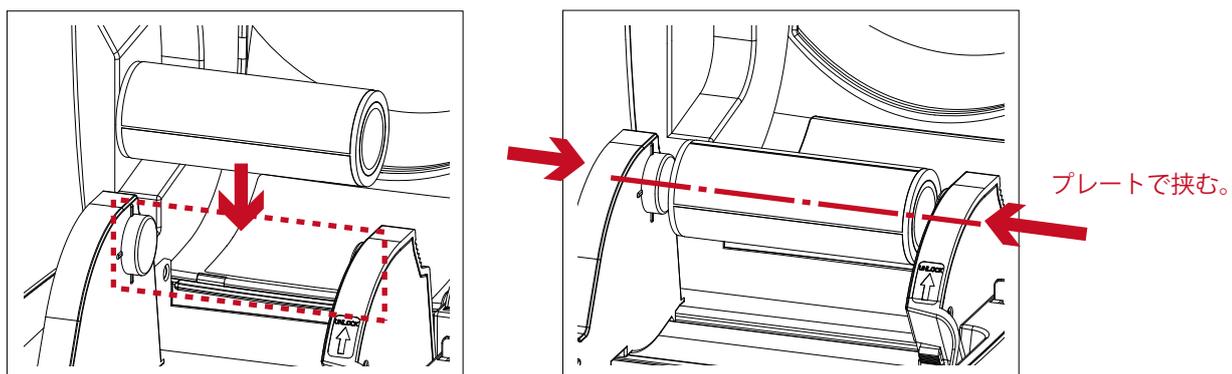
ラベルをプリンタにセットします。



1. ラベルガイドプレートロックボタンを押し、ラベルガイドプレートを開きます。

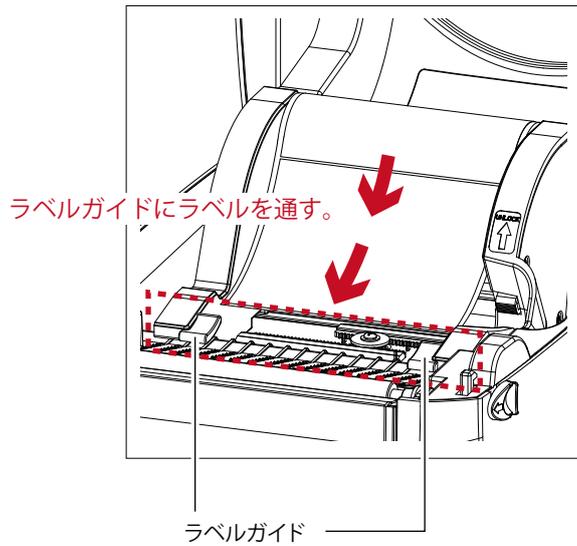


2. ラベルをラベルガイドプレートの中にセットし、ラベルフックにラベルを合わせてラベルガイドプレートで挟み、ラベルを固定します。 ラベルガイドプレートを広げる際は、ラベルガイドプレートロックボタンでロックを解除しラベルガイドプレートを動かします。

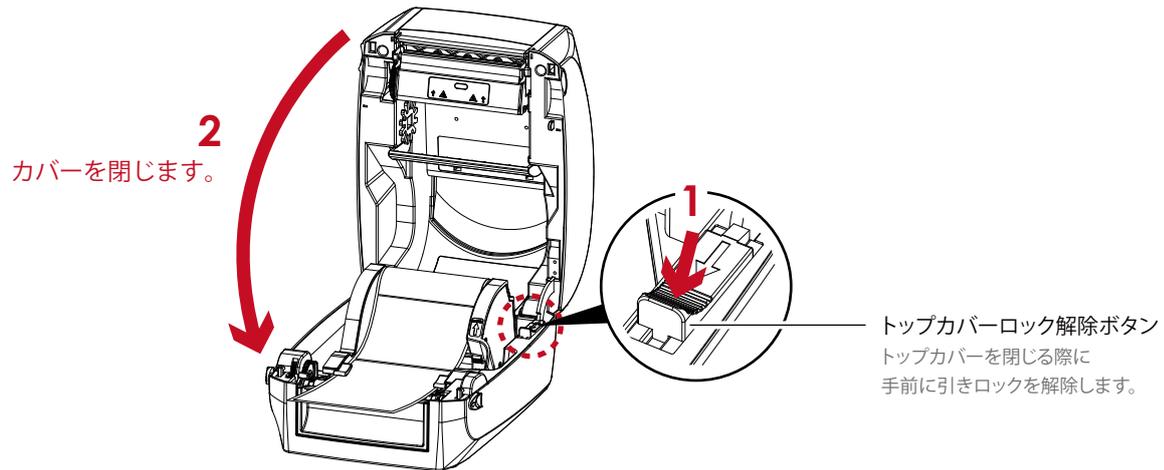


## 2 プリンタの設定

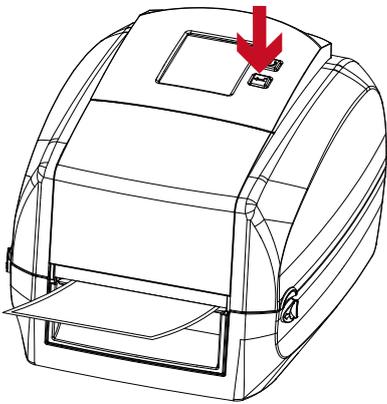
3. ラベルガイドにラベルを通します。



4. トップカバーロック解除ボタンを押してトップカバーを閉じます。



5. フィードボタンを押してラベルが正しく送り出されるか確認してください。以上でラベルのセットは完了です。



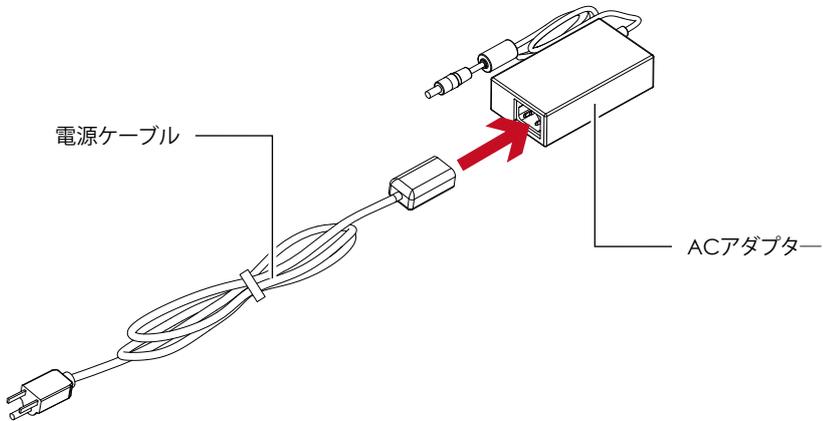
### 注意

- \* 定期的にラベルプレート付近のギア等を清掃してください。

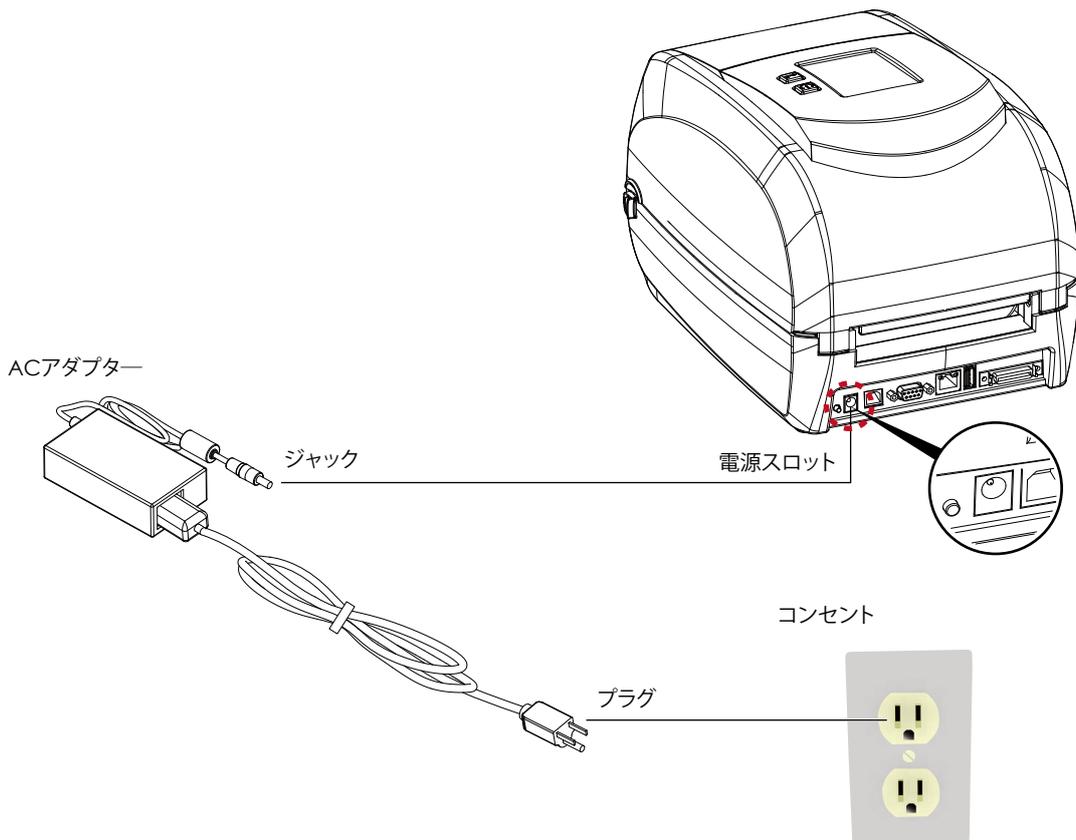
## 2 プリンタの設定

### 2.4 コンピューターとの接続

1. プリンタの電源がOFFになっていることを確認してください。
2. 電源ケーブルとACアダプタを接続してください。

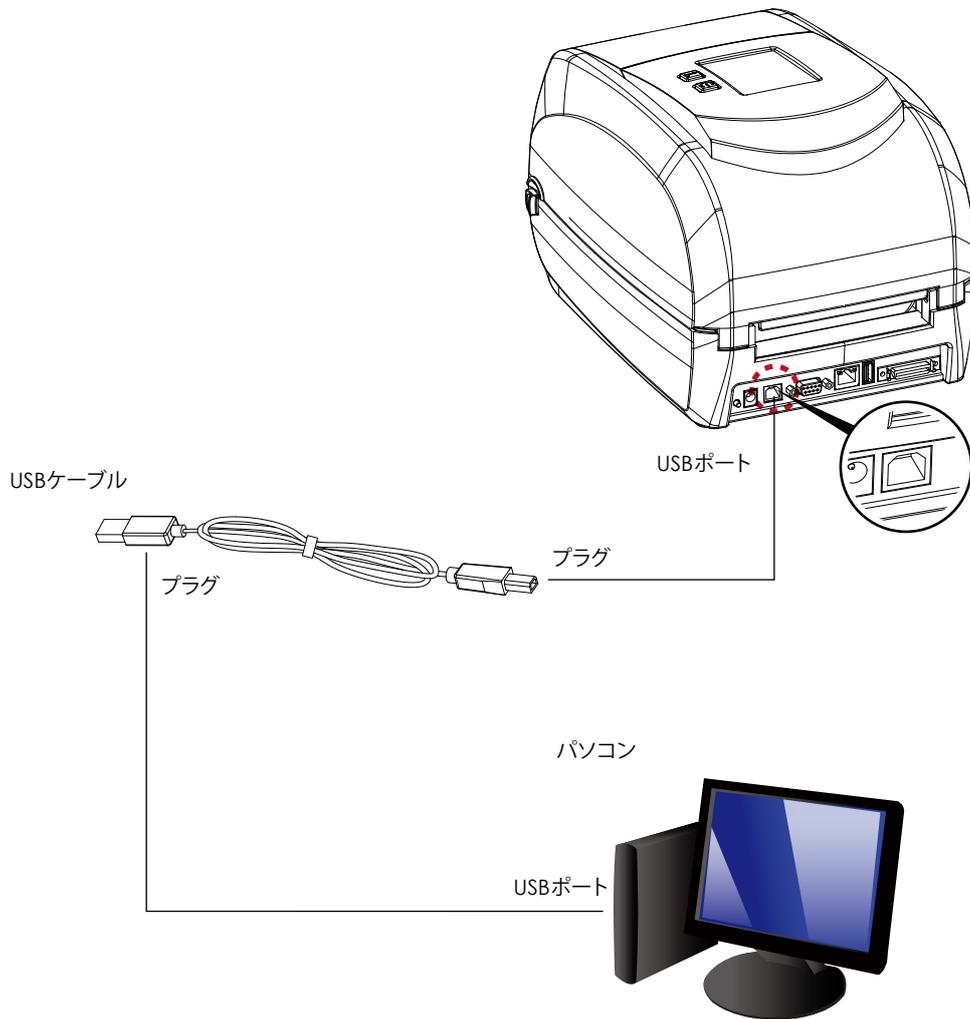


ACアダプターのジャックをプリンタの電源スロットへ差し込みます。  
電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。



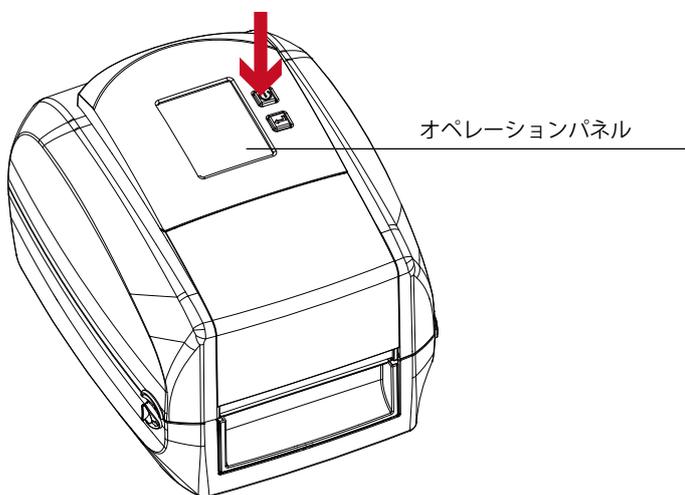
## 2 プリンタの設定

3. USBケーブルでプリンタとパソコンを接続してください。



4. 電源ボタンを押してください。自動ヘッドチェック後、オペレーションパネルが点灯します。

電源ボタンを押します。



## 2 プリンタの設定

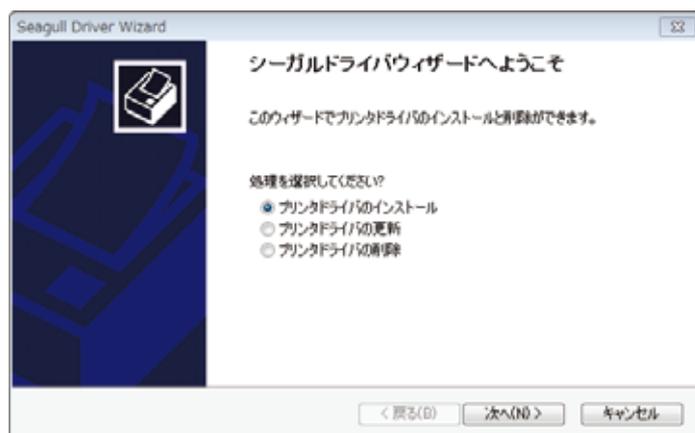
### 2.4 プリンタドライバのインストール

#### プリンタドライバのインストール

1. インストールCDをパソコンにセットし、“PrinterDrivers”フォルダ内の“BP700i860i1600i”フォルダを開きます。  
“BP700i860i1600iDriver.exe”を実行しインストールを開始します。



2. ファイルを解凍し、インストールウィザードが開始されます。  
“プリンタドライバのインストール”を選択し次へ進みます。



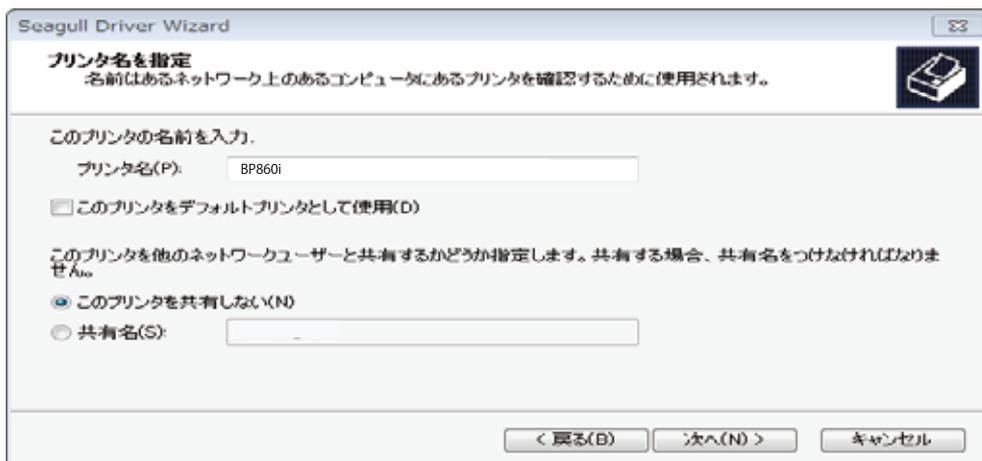
3. プラグアンドプレイによりプリンタが検出されます。



プリンタが検出されない場合は、ポートの種類とプリンタモデル名を選択し、次へと進んでください。

## 2 プリンタの設定

4. プリンタ名を指定します。



5. "完了"をクリックするとプリンタドライバのインストールを開始します。

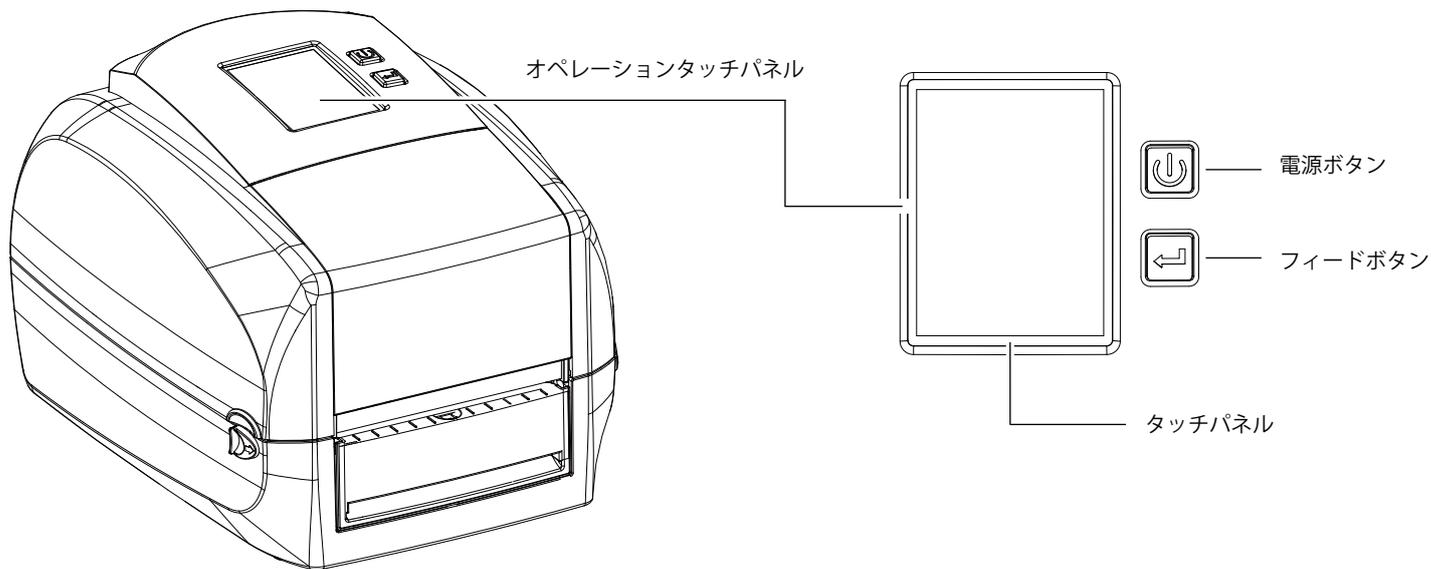


6. インストールが完了すると下記の画面が表示されます。



## 3 プリンタの操作

### 3.1 オペレーションパネル



#### 電源ボタン

電源ボタンを押すとスタートアップ画面が表示され、その後自動的にヘッド切れチェックを行います。正常に起動するとLCDパネルに「オンライン」と表示されます。

ヘッドチェック中にヘッドを開けるとヘッドチェックをキャンセルできます。

電源が入らない場合は、電源ケーブルが正しく挿し込まれているか、プリンタ後面のメインスイッチがONになっているか確認してください。

電源ボタンを3秒間押すと、プリンタの電源が切れます。

#### フィードボタン

プリンタの電源を入れ、「オンライン」の状態ではフィードボタンを押すと、連続紙の場合は、ボタンを押している間ラベルが送られます。

ラベル間ギャップの場合は、1枚分ラベルが排出されます。

ラベルが正しく搬送されない場合は、キャリブレーション（自動測長）を行ってください。  
詳しくは「3.4キャリブレーションとセルフテスト」を参照してください。

#### ポーズ（一時停止）

印字中にフィードボタンを押すと、印字が停止します。再びフィードボタンを押すと印字を再開します。

例えば、10枚印字指示をして、2枚の印字でフィードボタンを押すと2枚目が印刷した後、プリンタがポーズ状態で停止します。再度フィードボタンを押すと3枚目から再開します。

#### 印字キャンセル

印字中にフィードボタンを3秒間押すと、プリンタ内のジョブを取り消します。

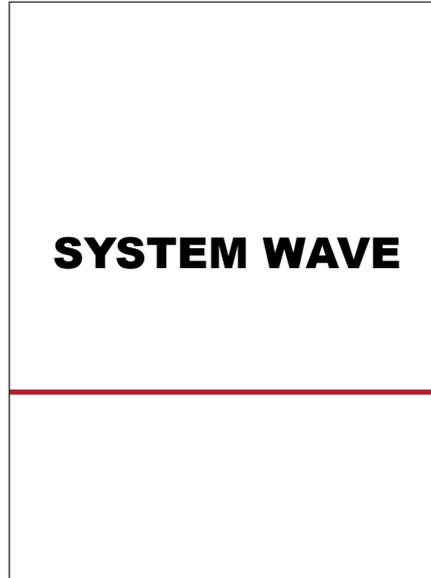
例えば、10枚印字指示をして、2枚の印字でフィードボタンを押すと2枚目が印刷した後のジョブがキャンセルされます。プリンタドライバなどに溜まったジョブはキャンセルされません。

# 3 プリンタの操作

## 3.2 タッチパネル操作方法

はじめに

電源を入れるとスタートアップ画面が表示され、その後、自動ヘッドチェックが開始されます。



プリンタが正常に起動すると「オンライン」の表示になります。  
画面をタッチすることで設定画面等に切り替えることができます。



設定等を行う場合は指で画面をタップしてください。

### 3 プリンタの操作

オンラインの画面から3つの設定項目を選択することができます。



メインメニュー

プリンタ設定やシステム設定を行います。



ウィザード

濃度やスピードなど印字に関する設定を行います。



テスト

セルフテストなど各テストを行います。

### 3 プリンタの操作



設定を保存(実行)は   
設定を保存せずにメインメニューに戻るには  をタップします。

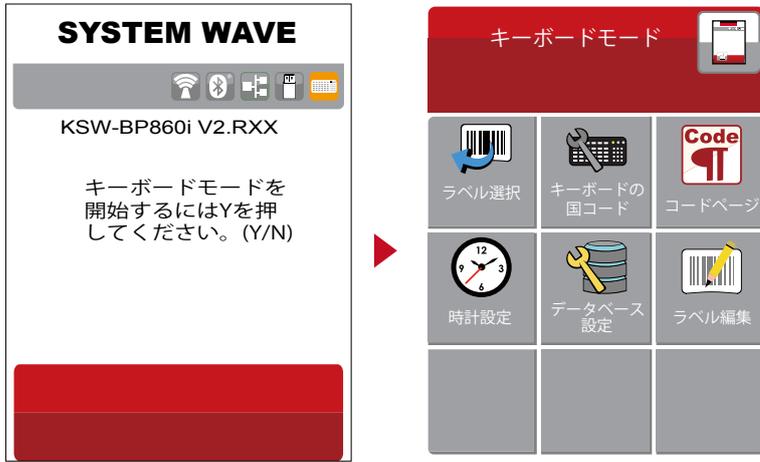


プリンタの設定値を優先させる場合は、ロック設定を行います。  
ロックした項目はコンピューターからの命令を受け取らずプリンタで設定した値が優先されます。

# 3 プリンタの操作

## キーボードモード

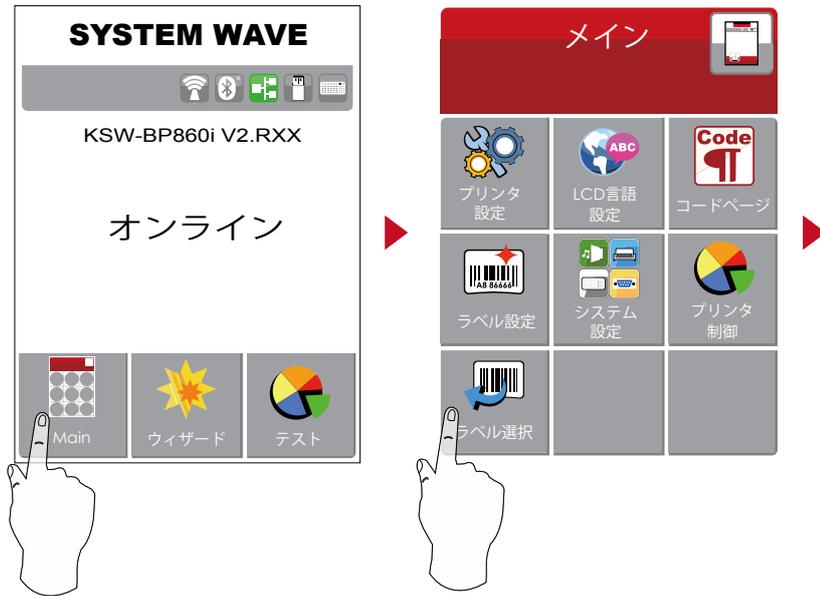
USBホストにキーボードを接続するとタッチパネルにキーボードモードと表示されます。  
キーボードの「Y」キーを押すと、キーボードモードのオペレーション画面が表示されます。



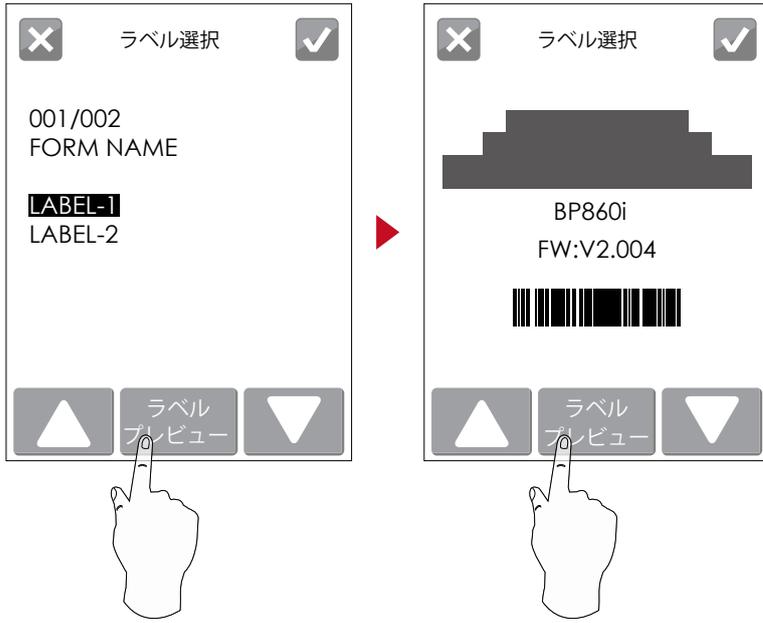
## ラベルプレビュー

ラベルのプレビューを確認することができます。

ホーム画面からメインページ  
を選択します。  
メインページから「ラベル選択」を  
を選択します。



### 3 プリンタの操作



ラベル選択ページにプリンタにダウンロードされているラベル名が表示されます。



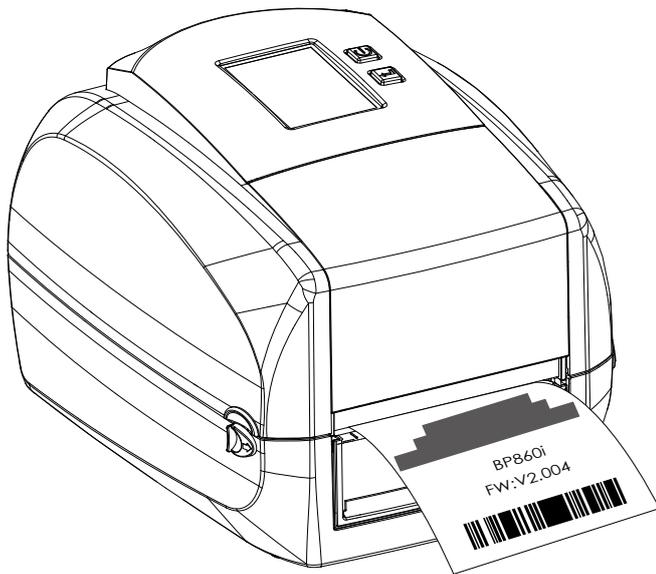
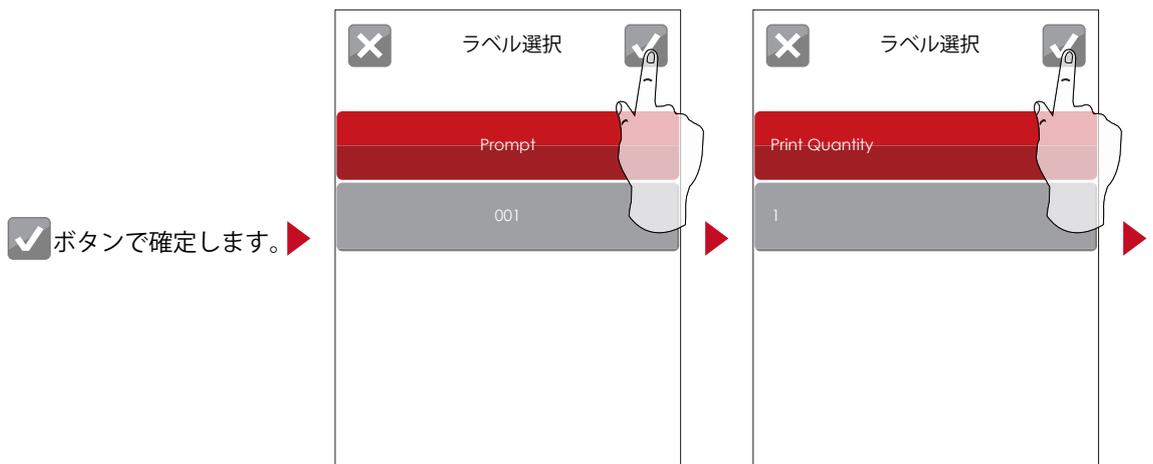
上のラベルにカーソルを移動します。



下のラベルにカーソルを移動します。



ラベルイメージを表示します。



選択したラベルが印字されます。

# 3 プリンタの操作

## 3.3 タッチパネル機能一覧

メインメニュー



プリンタ設定 印字濃度や印字速度などプリンタの動作に関する設定を行います。



LCD言語設定 言語の設定を行います。



コードページ 特定の言語の文字セットの設定を行います。



ラベル設定 回転や印字位置の微調整など印字に関する設定を行います。



システム設定 オプションやLAN設定などを行います。



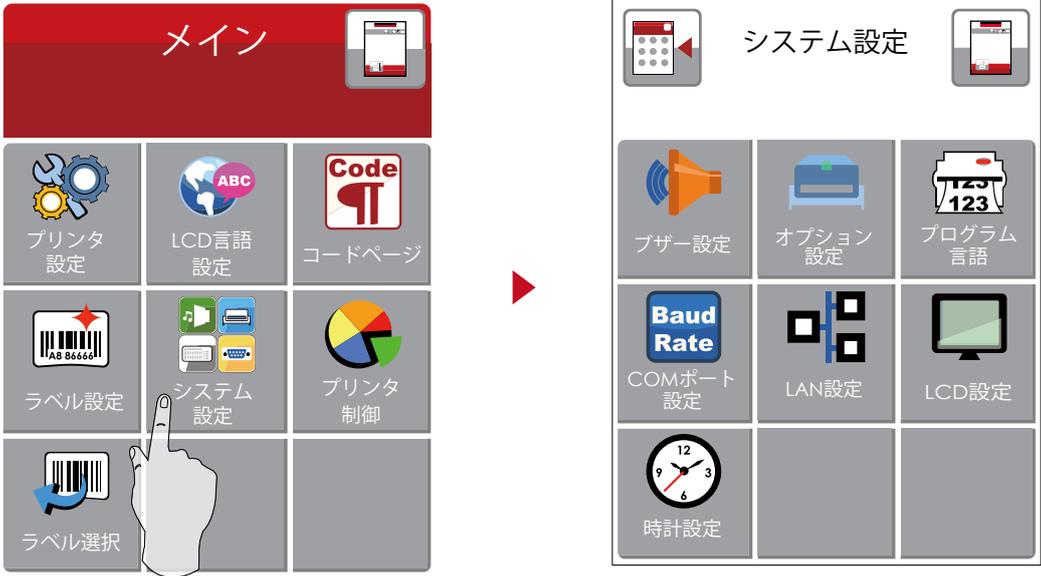
プリンタ制御 テストページの印刷や自己診断を行います。



ラベル選択 プリンタにダウンロードされているラベルを印字します。

# 3 プリンタの操作

## システム設定



ブザー音設定 ブザー音のON/OFFの設定を行います。



オプション設定 カッターやピラーの設定を行います。



プログラム言語 コマンド言語の設定を行います。



COMポート設定 シリアルポートの設定を行います。



LAN設定 IPアドレス等のネットワーク関係の設定を行います。



LCD設定 タッチパネルの設定を行います。



時計設定 時計設定を行います。

# 3 プリンタの操作

## 設定項目



プリンタ設定	印字濃度	0-19
	印字速度	2-5
	センサー選択	自動モード
		透過
		反射
	ラベル種類	紙間
		黒線
		連続紙
印字モード	感熱 熱転写	
ラベル停止位置	0-40	
先端合わせ	適用 キャンセル	



LCD言語設定	English
	Deutsch
	繁體中文
	簡體中文
	Français
	Español
	日本語
	Italiano
	Русский
	Türkçe



コードページ	850
	852
	437
	860
	863
	865
	857
	861
	862
	855
	866
	737
	851
	869
	Win 1252
	Win 1250
	Win 1251
Win 1253	
Win 1254	
Win 1255	
Win 1257	



ラベル設定	回転
	X軸-移動
	Y軸-移動
印字開始位置	

### 3 プリンタの操作



#### システム設定

ブザー音設定	OFF
	ON
オプション設定	なし
	カッター
	剥離
	アプリケーション
プログラム言語	Off
	On

COMポート設定	ボーレート	4800 bps
		9600 bps
		19200 bps
		38400 bps
		57600 bps
		115200 bps
	パリティ	なし
		偶数
		奇数
データビット	7 bits	
	8 bits	
ストップビット	1 bits	
	2 bits	

LAN設定	DHCP	On
	IPアドレス	0.0.0.0
	サブネットマスク	255.255.255.0
	ゲートウェイ	192.168.0.254

LCD設定	明るさ	5
	コントラスト	5
	パワーセーブ	15
	パスワード	OFF

時計設定	年	
	月	
	日	
	時	
	分	

#### プリンタ制御



プリンタ制御	テスト
	サンプルパターン
	メモリ選択
	メモリクリア
	ラベル測長
	設定初期化

ウィザード	印字濃度	2-5
	印字速度	0-19
	ラベル種類	紙間
		黒線 連続紙
	X軸-移動	
	Y軸-移動	

#### Bluetooth



Bluetooth	Clear Bind	Enable Disable
	Make Device Visible	Enable Disable
	SSP	Enable Disable
	PIN Code	0000
	Search Devices	

テスト	セルフテスト
	ダンプモード

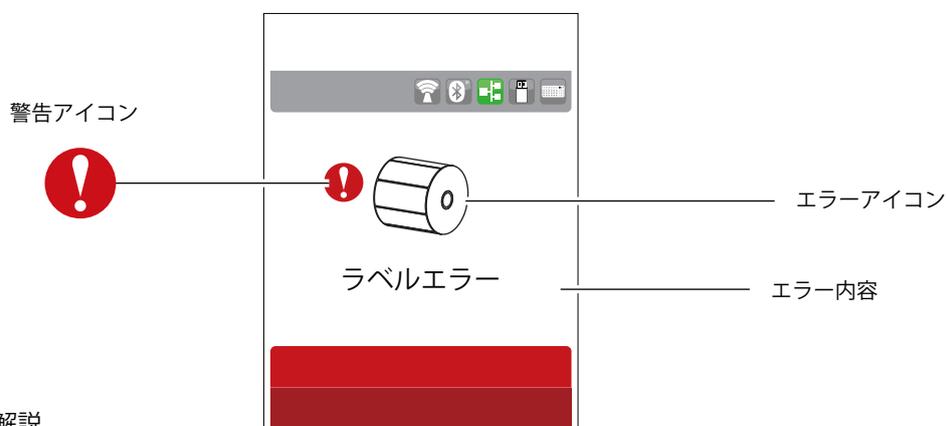
### 3 プリンタの操作

#### ステータス表示

プリンタが印字できる状態（スタンバイ状態）のとき、液晶ディスプレイには「オンライン」と表示されます。「オンライン」のときにしか印字はできません。



もし何かプリンタにエラーがある場合、液晶ディスプレイにはエラーの内容が表示されます。エラー内容のチェックをしてください。



#### アイコン解説



上の階層へ

セッティングページに右上に表示されます。タッチすることで上の階層へ移動します。



メイン画面

セッティングページに左上に表示されます。タッチすることでメイン画面へ移動します。



ロック

設定をロックするとソフトウェアからのコマンドを受け付けず、プリンタの設定が優先されます。



アンロック

もう一度押すと、ロックを解除できます。

# 3 プリンタの操作

## 3.4 キャリブレーションとセルフテスト

### ラベルキャリブレーション

プリンタは自動的にラベル長を検出します。  
(コンピュータからラベル長をプリンタに送る必要はありません)

### セルフテスト

セルフテスト機能はプリンタの機能が正常に機能しているか自動でチェックする機能です。  
ラベル長自動検出(キャリブレーション)とセルフテストの実行方法は下記のとおりです。

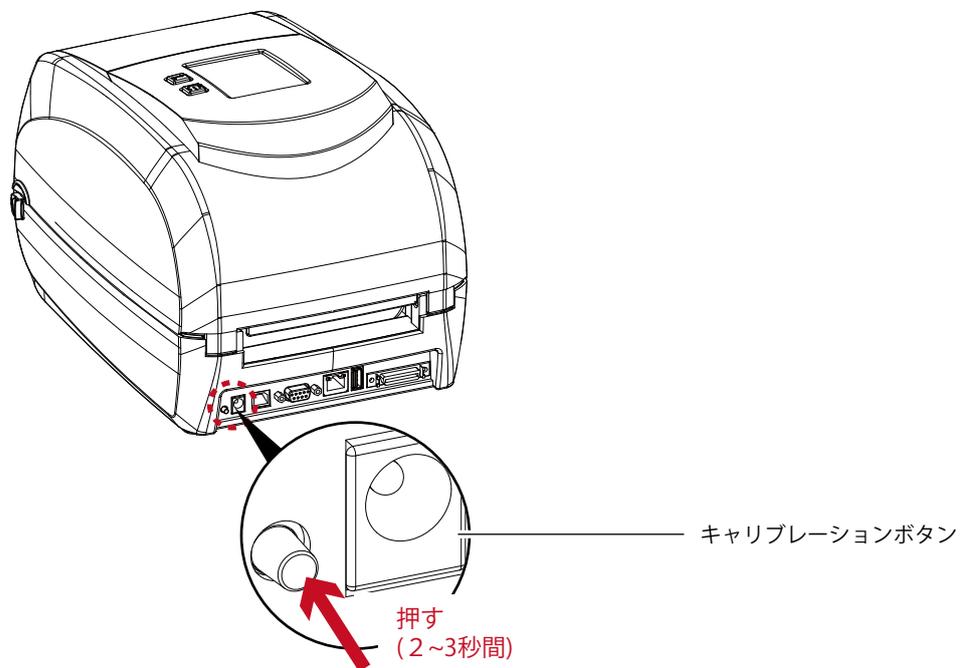
1. ラベルが正常にセットされているかチェックします。
2. 電源を落とします。
3. フィードボタンを押しながら電源を入れてください。フィードボタンのLEDが赤く点滅したらフィードボタンを話します。  
プリンタは自動的にラベルの長さを測定します(測長)。
4. 測長後、プリンタは自動的にセルフテストの結果を印字します。  
セルフテストの内容は下記のとおりです。

プリンタモデル&バージョン	KSW-BP860i:VX.XXX
USB ID設定	USB S/N:12345678
シリアルポート設定	Serial port:96,N,8,1
LANポートのMACアドレス	MAC Addr:xx-xx-xx-xx-xx-xx
IPプロトコル設定	DHCP Enable
LANポートのIPアドレス	IP xxx.xxx.xxx.xxx
ゲートウェイ設定	Gateway xxx.xxx.xxx.xxx
ネットマスク設定	Sub-Mask xxx.xxx.xxx.xxx
	#####
装着されているDRAM数	1 DRAM installed
画像バッファサイズ	Image buffer size:1500 KB
フォーマット数	0000 FORM(S) IN MEMORY
画像ファイル数	0000 GRAPHIC(S) IN MEMORY
フォント数	000 FONT(S) IN MEMORY
Asianフォント数	002 ASIAN FONT(S) IN MEMORY
データベース数	000 DATABASE(S) IN MEMORY
TTFフォント数	000 TTF(S) IN MEMORY
空きメモリ容量	64104 KB FREE MEMORY
印字速度、印字濃度、停止位置、印字方向	^S4 ^H8 ^R000 ~R200
ラベル幅、ラベル長、停止位置	^W102 ^Q100,3 ^E18
カッター、ピラー、モード設定	Option:^D0 ^O0 ^AD
センサー設定	Reflective AD:1.96 2.84 2.49[0.88_23]
コードページ	Code Page:850

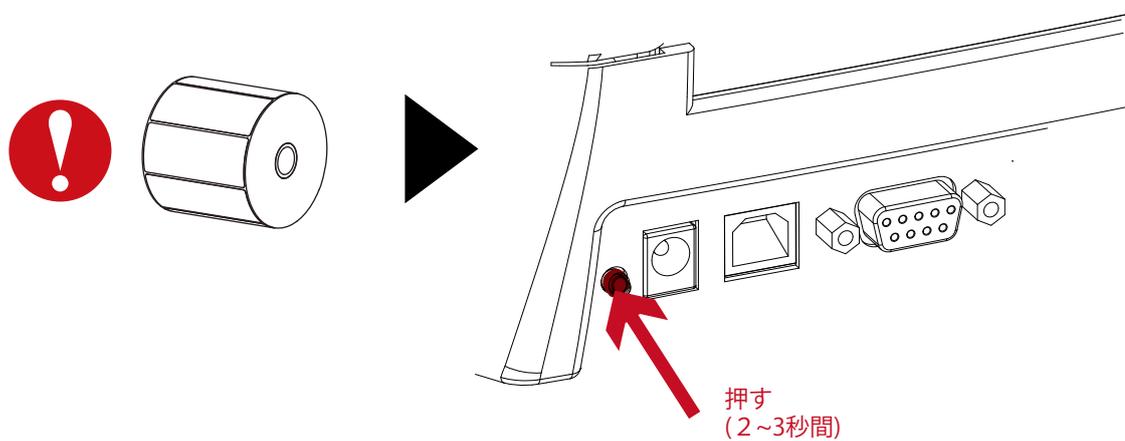
### 3 プリンタの操作

#### ラベルキャリブレーションボタン

液晶ディスプレイに「ラベルエラー」と表示されたときは、キャリブレーションボタンを試してみてください。ラベルやリボンを掛け替えた際も、紙間ラベルやアイマークや連続紙など自動的に認識します。



キャリブレーションボタンを2~3秒間押すとラベルとリボンの適正値を自動計測します。



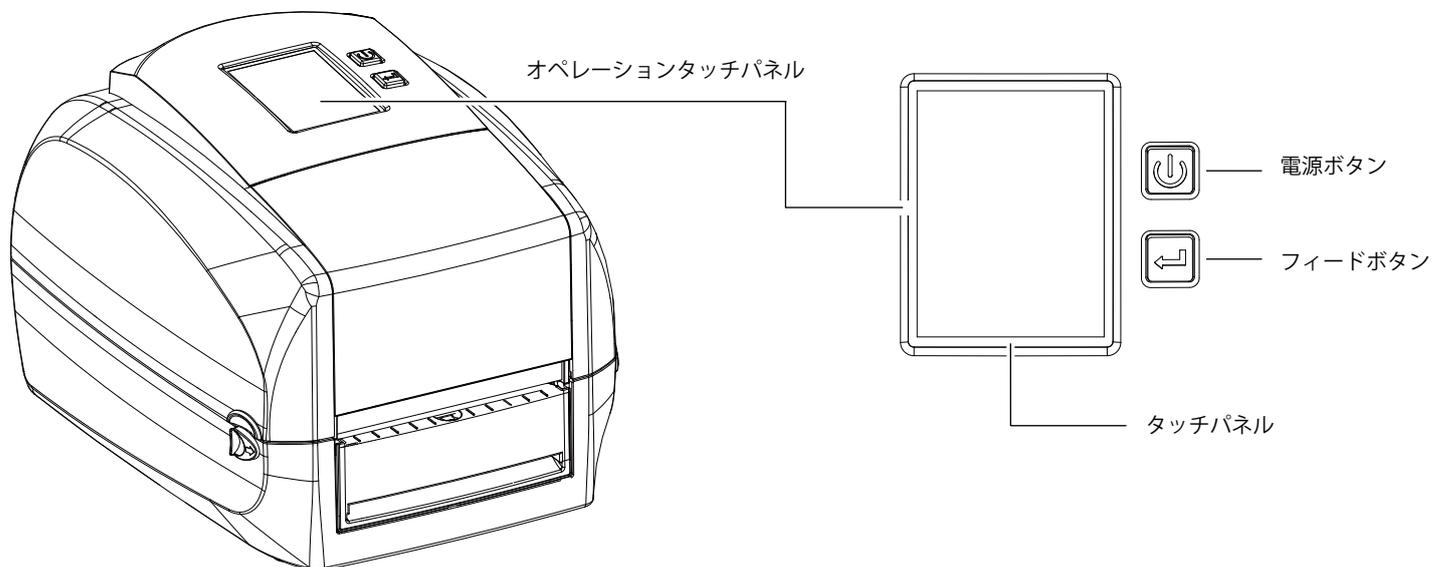
#### 注意

\* キャリブレーションボタンは自動センサーコマンド "～S.SENSOR"と同じ働きです。

# 3 プリンタの操作

## 3.5 エラー警告

エラーが発生した場合は、液晶ディスプレイにエラー内容が表示され、警告音が鳴ります。  
エラー内容については下記を参照してください。



### オペレーションパネル ステータス

	タイプ	ブザー音	詳細	対応
	ヘッドエラー	2 x 4ブザー音	ヘッド部分が開いています	ヘッド部分をきちんと閉めてください
	ヘッドエラー	ブザー音なし	ヘッド高温	ヘッドを冷やし、プリンターをスタンバイモードにしてください。
	リボンエラー	2 x 3 ブザー音	リボンが装着 されていない	プリンターがダイレクトサーマル 設定になるか確認してください
			リボンがなくなった	リボンを交換してください

### 3 プリンタの操作

#### オペレーションパネル ステータス



タイプ	ブザー音	詳細	対応
		ラベルなし	ラベルセンサーが正しい位置にあるか確認してください。それでもエラーとなる場合は自動検出機能を行ってください。
ラベルエラー	2 x 2 ブザー音	ラベルなし	ラベルをセットしてください
		フィードエラー	ラベルがプラテンローラーに巻き付いているか、センサーがラベル種類を検出できていない可能性があります。センサーをチェックしてください。
		メモリーがいっぱいです	不要なデータを削除するか、追加メモリーを装着してください。
ファイルエラー	2 x 2 ビープ音	ファイル名が見つかりません	"~X4"コマンドを使って、すべてのファイルを印字し、ファイル名をチェックしてください。
		ファイル名が重複しています。	すでに同じ名前のファイルがあります。ファイル名を変更し、再度保存してください。

## 3 プリンタの操作

### 3.6 USBホスト

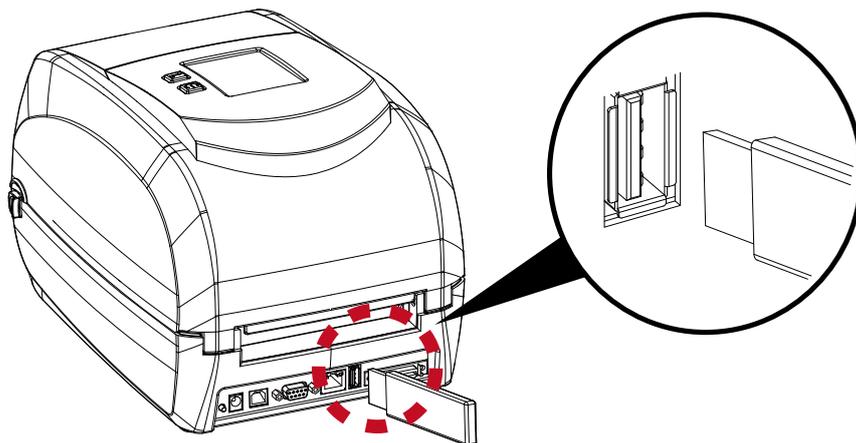
USB HostはUSBメモリやUSB接続のキーボード、スキャナーを使用することができます。

目的

- USBメモリ：グラフィック・フォント・ラベルフォーマット・データベースファイルやコマンドファイルをダウンロードするためのユーザーメモリー容量を最大32GBまで増設することができます。  
プリンターのファームウェアを更新する場合も、更新ファイルをUSBメモリーに入れることによって、USBメモリから自動的にアップデートすることができます。
- USBキーボードを接続すると、プリンターをスタンドアロンモードで使用することができます。
- スタンドアロンモードのとき、USBスキャナーを接続すると、プラグインで使用することができます。

増設メモリの使い方

- USBメモリー： ホットプラグに対応しておりますので、挿し込むだけですぐご利用可能です。  
プリンターは「\LABELDIR」というフォルダを新しく作ります。「USERFLASH」と「増設メモリー」とを自動的に切り替えて使えます。



ファームウェアアップデートの方法

- USBメモリ内のデータを消去するために、コンピューターのUSBポートに挿し込みます：  
USBメモリ中に「\LABELDIR\FW」フォルダがあれば、「\*.bin」ファイルを削除してください。  
もしなければ、「\LABELDIR\FW」フォルダをUSBメモリの中に作成してください。
- 新しいバージョンのファームウェア「xxx.bin」を「\LABELDIR\FW」フォルダにコピーし、  
USBメモリをプリンタに挿し、ファームウェアをアップデートします。
- プリンターは自動的に「\LABELDIR\FW」フォルダの新しいファームウェアを検索し、アップデートを行います。
- 液晶ディスプレイに「Flash Writing...」と表示されている間はUSBメモリを抜かないでください。

## 3 プリンタの操作

### USB キーボード

- USBキーボードがプラグイン接続されると、液晶ディスプレイに「キーボードモード」と表示されます。  
キーボードの「Enter」キー又はプリンターのフィードボタンを押して、「ラベル選択」画面を表示させてください。
- 「ラベル選択」と表示されているときのみ、キーボードモードとして下記機能を使うことができます。
  1. 「Esc」キーを押すと「キーボードモード」を終了し、前の画面に戻ります。
  2. 「F1」キーを押すと、「オンライン」状態から「キーボードモード」に入ります。
  3. キーボードモードでは「Enter」キー、「矢印」キーと「アルファベット」キーを使うことができます。

### スキャナー

- USBスキャナーをプリンターに接続すると、液晶ディスプレイに「キーボードモード」と表示されます。  
フィードボタンを押して「ラベル選択」画面を表示させてください。  
「ラベル選択」機能は、液晶ディスプレイ、十字キー、フィードボタンとスキャナで操作できます。
- スキャナーは「キーボードモード」において、液晶ディスプレイが入力待ち状態のとき、  
シリアルナンバー、可変データと印字枚数をスキャンすることができます。

### 注意

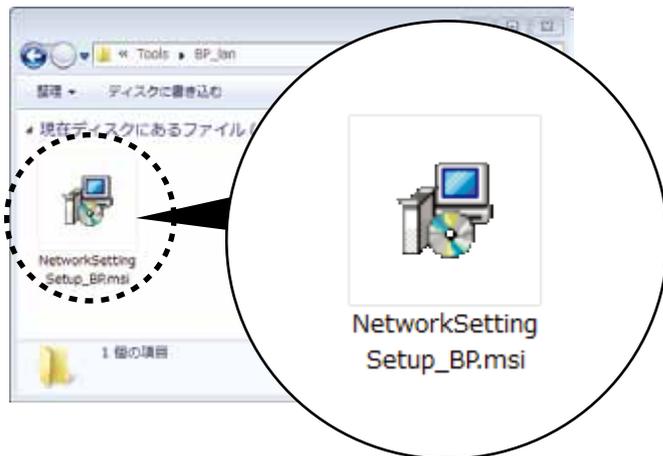
- \* USBホストポートには「HUB」機能はありません。
- \* USBメモリは「FAT32」で32GBまでの対応です。  
推奨メーカーは、Transcend、Apacer、Patriot、Consair、Kingstonです。
- \* コンピューターで、USBメモリから「\LABELDIR」フォルダを相互にコピーすることができます。  
サブフォルダーや「\LABELDIR」フォルダの中のファイル単体のコピーはサポートしていません。

# 4 ネットワークの設定

## 4.1 ネットワーク設定ツールインストール

ネットワーク設定ツールは、プリンタをLAN経由で印刷する際にIPアドレス等の設定を行うツールです。付属のCDROM又は弊社ホームページよりダウンロードして、下記の手順でインストールを行ってください。ネットワークの設定は本体のタッチパネルでも設定が行えます。

1. 付属のCDROMをコンピューターにセットし、Toolsフォルダ-BP\_lanフォルダを開きます。
2. NetworkSettingSetup\_BP.msiを実行します。



3. 画面に従い、インストールウィザードを進めて行きます。
4. インストールフォルダを指定してください。



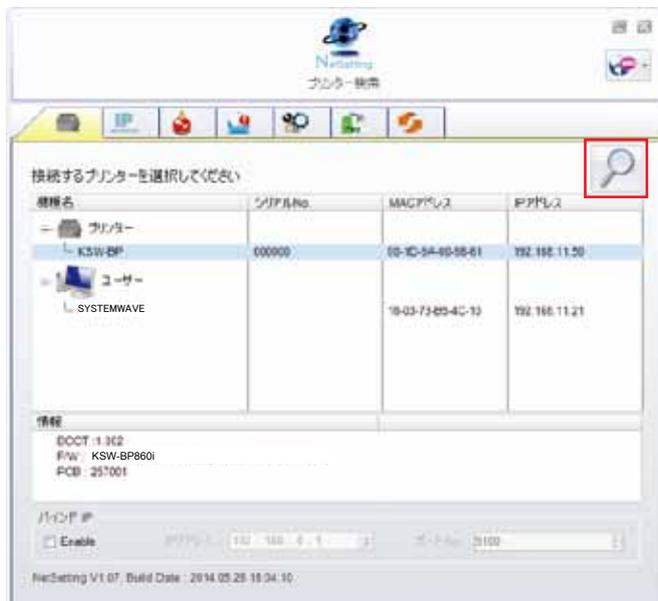
5. "Next"をクリックするとインストールを開始します。
6. インストールが完了すると、デスクトップにNetSettingのアイコンが出来上がります。



# 4 ネットワークの設定

## 4.2 ネットワーク設定ツールの使用方法

プログラムを起動すると、スタートページが表示されます。  
スタートページには接続情報とコンピューターの状態が表示されます。  
画面右上の言語設定ボタン  で日本語を選択します。



虫眼鏡アイコンをクリックすると、ネットワーク上を検索し、接続されているプリンタを表示します。



上部の6つのタブから様々な設定が行えます。  
設定の変更にはパスワードの入力が必要です。

### 注意

\* パスワードのデフォルト値は"1111"です。IP設定のタブから変更が可能です。

## 4 ネットワークの設定

### IP設定

IP設定画面では、プリンター名、ポートNO.、デフォルトゲートウェイ、パスワード、IPアドレス取得方法 (DHCP又は固定IPアドレス) 及びIPアドレスの設定を行います。

NetSetting  
IP設定

プリンター名: KSW-BP860i 桁数(1~16)

ポートNo.: 9100

デフォルトゲートウェイ: 192 . 168 . 11 . 1

パスワード: 1111 桁数(1~4)

DHCPサーバーから自動取得

固定IPアドレス

IPアドレス: 192 . 168 . 11 . 50

サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0

適用 更新

適用ボタンで設定を行い、更新ボタンでプリンタから設定を再取得します。

### 注意

- \* ネットワーク上でプリンタを運用するには、ネットワークの知識が必要です。  
ネットワーク設定情報については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

## 4 ネットワークの設定

### アラートメール設定

プリンタにエラーが起こった時、指定されたメールアカウントに警告メッセージを送信します。

「アラートメールの設定」ではSMTPとSNMPの設定及び変更をすることが出来ます。

NetSetting  
アラートメール設定

SMTPアラートメッセージ使用

ログインアカウント: default 桁数(1~64)  
ログインパスワード: \*\*\*\*\* 桁数(1~16)  
サーバーIPアドレス: 192 . 168 . 0 . 1 xxx.xxx.xxx.xxx  
タイトル: Barcode printer message 桁数(1~60)  
差出人: default@default.com 桁数(1~32)  
宛先: default@default.com 桁数(1~32)  
期限: 1 0 ~ 168 時間  
イベント通知数: 5 1 ~ 100

SNMPアラートメッセージ使用

SNMPコミュニティ: public 桁数(1~16)  
SNMPトラップコミュニティ: public 桁数(1~16)  
トラップIPアドレス: 192 . 168 . 0 . 1 xxx.xxx.xxx.xxx

適用 更新

「適用」ボタンで設定を確定します。「更新」ボタンで現在のプリンタ設定内容を確認出来ます。

## 4 ネットワークの設定

### アラートメッセージ設定

オペレーターに送信するエラーメッセージを選択する事が出来ます。

更に、エラーメッセージはSMTPかSNMP、もしくは両方の設定が可能です。

SMTP	SNMP	説明
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	用紙又はリボンがありません
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	紙つまり
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	リボン無し
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ヘッドオープン
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	リワインダ フル
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ファイルが一杯です
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ファイルが見つかりません
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	重複名
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	構文エラー
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	カッターエラー 又はカッターが見つかりません
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ヘッド高温

適用      更新

## 4 ネットワークの設定

### プリンター設定

接続されているプリンタ設定を変更します。

NetSetting  
プリンター設定

プリンタ設定

プリンターモデル	ラベル送り停止位置	印字速度	印字濃度
BP860i	12	4	8
剥離/アプリアーター	1枚毎カット	印字モード	
0 (無し)	0	感熱	

シリアルポート設定

ボーレート	LCD言語	センサーモード
9600	Japanese	2 - 自動
パリティ	キーボード国番号	プレプリント
無し	US	OFF
データビット	コードページ	先端合わせ
8	Code Page 850	2 - 電源ON時OFF
ストップビット	ブザー音	
1	ON	

適用 更新

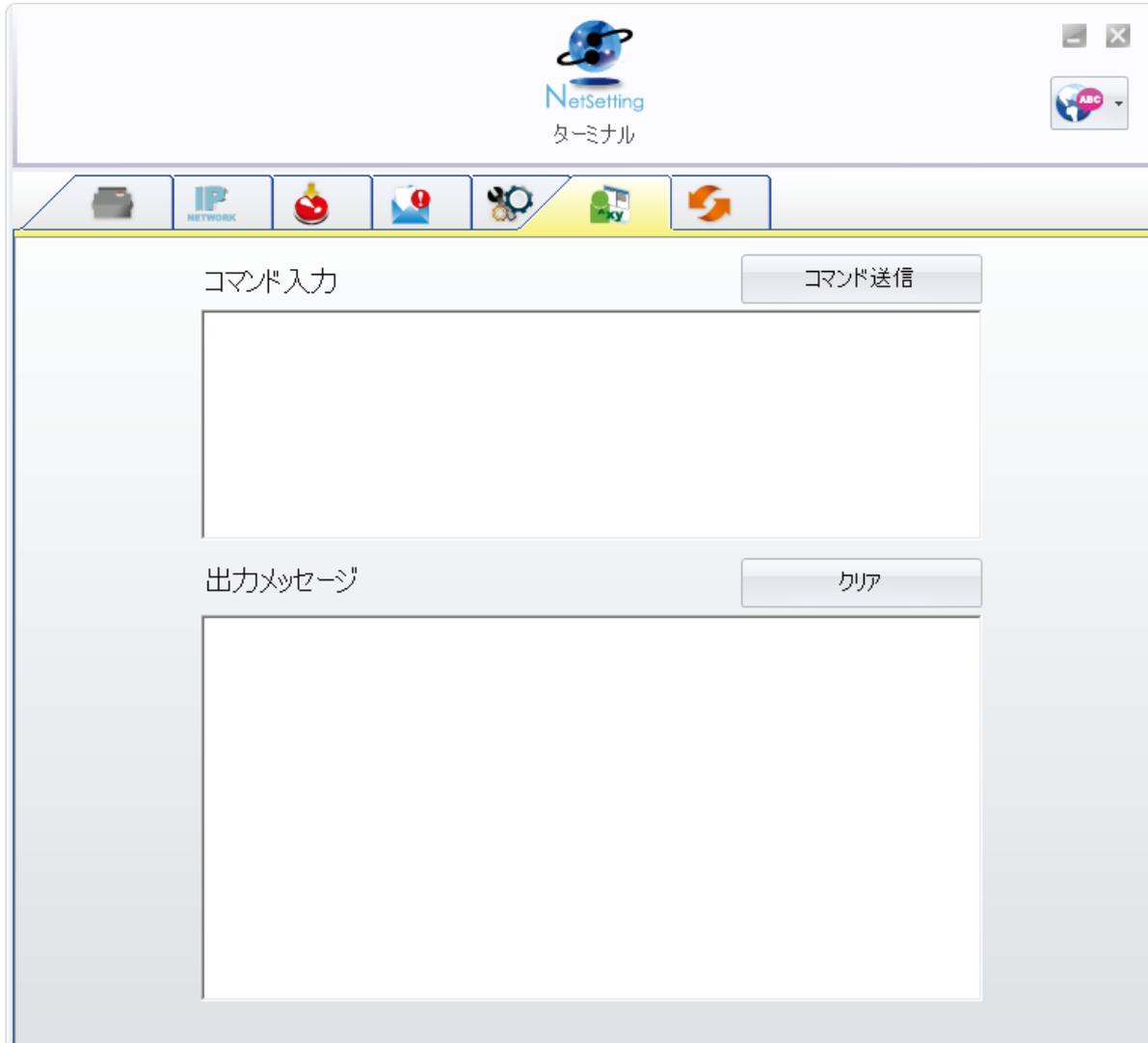
「適用」ボタンで設定を確定します。「更新」ボタンで現在のプリンタ設定内容を確認出来ます。

## 4 ネットワークの設定

### ターミナル

プリンタを通信する為のインターフェイスです。

「コマンド入力」欄にプリンタコマンドを入力します。「コマンド送信」ボタンでプリンタコマンドをプリンタに送信します。



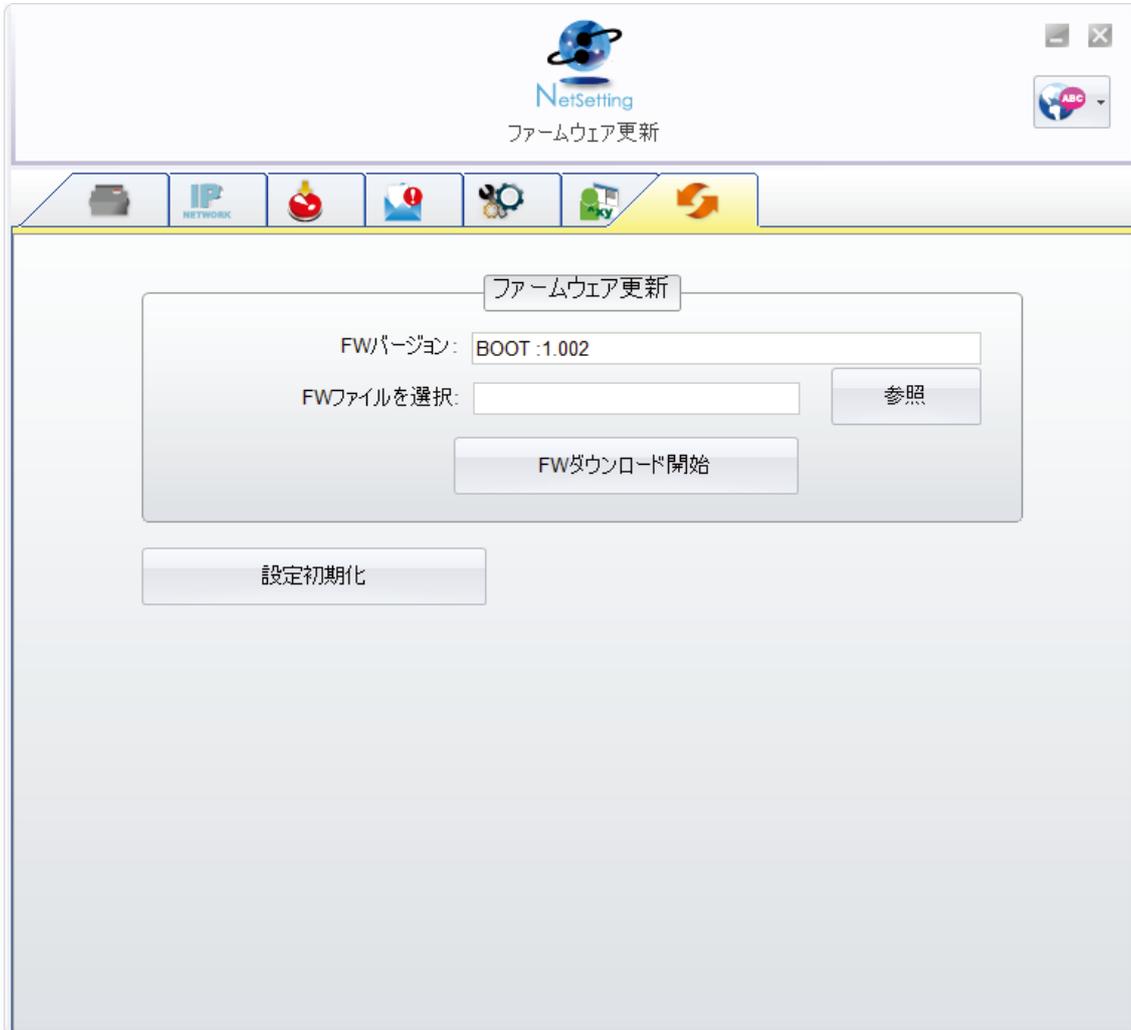
「コマンド送信」でプリンタコマンドを送信出来ます。そして、イーサネット経由でプリンタを遠隔操作することも出来ます。

## 4 ネットワークの設定

### ファームウェア更新

プリンタのファームウェアの現バージョンが画面に表示されます。

プリンタのファームウェアをアップデートする場合は、ファームウェアのファイルの場所を指定し、「FWダウンロード開始」ボタンをクリックしてください。



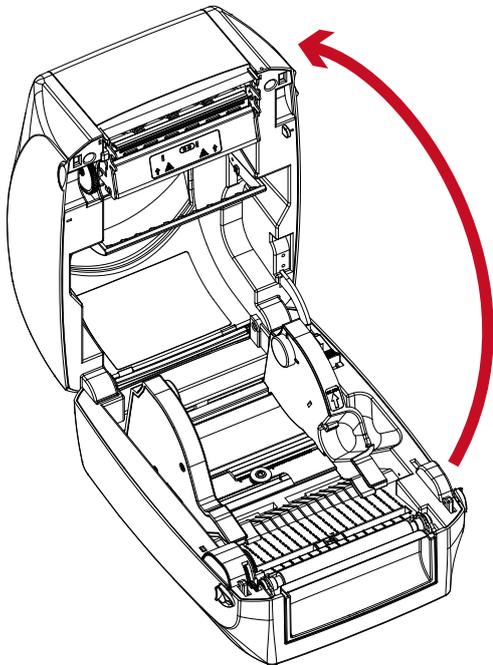
「設定初期化」ボタンでプリンタを初期化することができます。

## 5 オプション

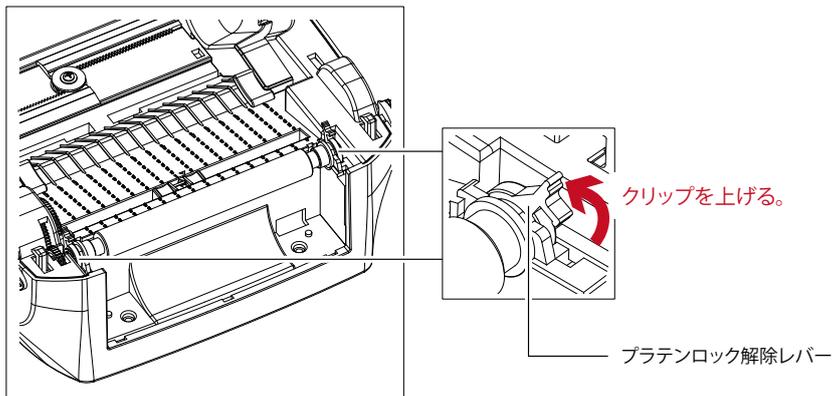
### 5.1 オプション部品取付作業の前に

オプション部品を取り付ける前に、下記の準備を行ってください。

1. プリンタの電源をOFFにする：  
必ずプリンタの電源をOFFにしてオプション部品を取り付けてください。
2. プリンタトップカバーを開ける：  
プリンタの両サイドにあるレバーを手前にひいて、プリンタカバーを開けます。  
詳細を確認するには2.1を参照してください。

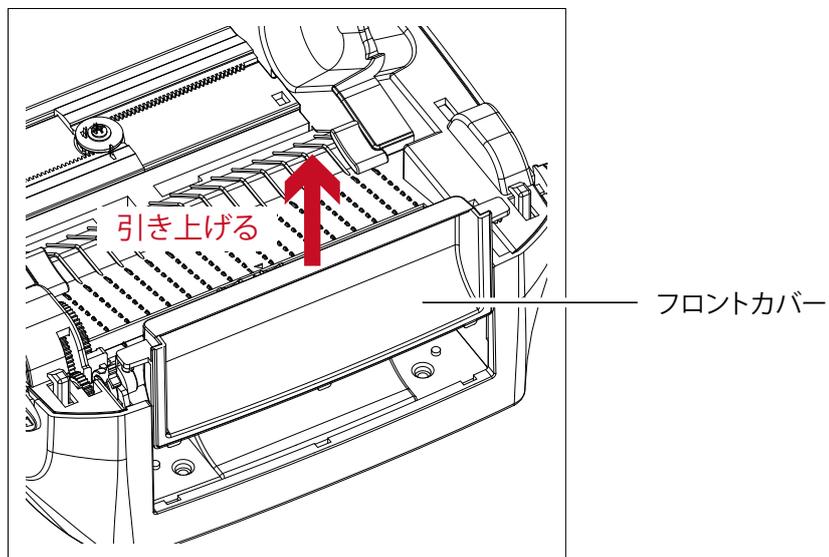


3. プラテンロック解除レバーを上げる：  
プラテンロック解除レバーを上引き上げます。

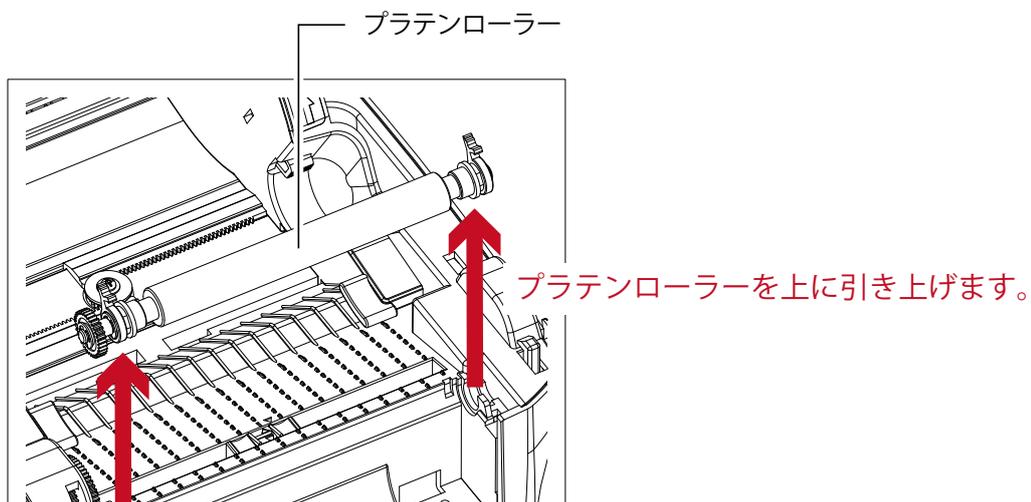


## 5 オプション

4. フロントカバーを取り外します：  
フロントカバーを引き上げてください。



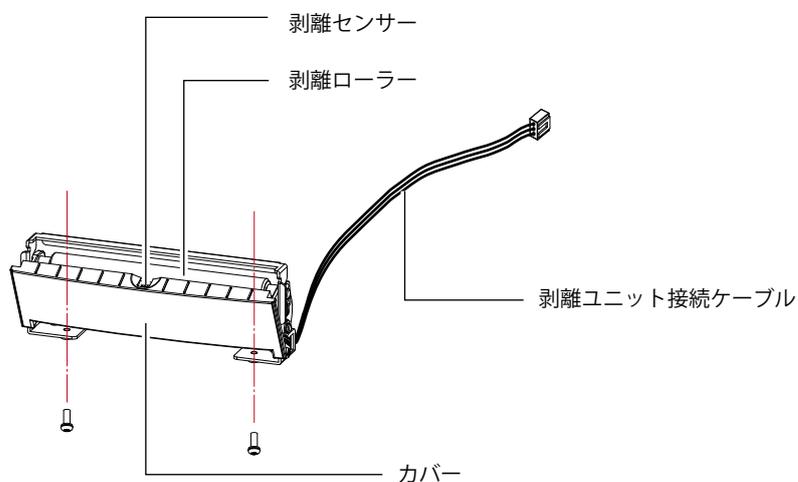
5. プラテンローラーを取り外します。：  
プラテンローラーを上引き上げます。



# 5 オプション

## 5.2 剥離ユニットの取り付け

剥離ユニットの概要

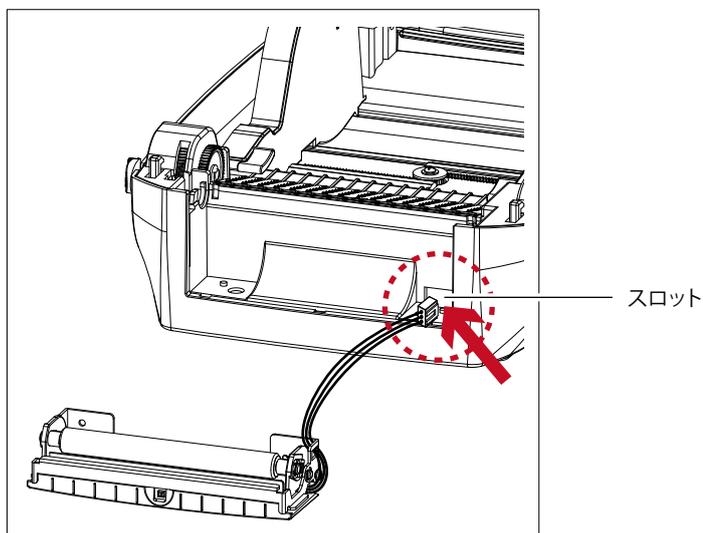


取り付け手順

剥離ユニットを取り付ける前に、5.1の手順をおこなってください。

剥離ユニットの取り付け

1. プリンタの前面スロットにケーブルを挿入します。

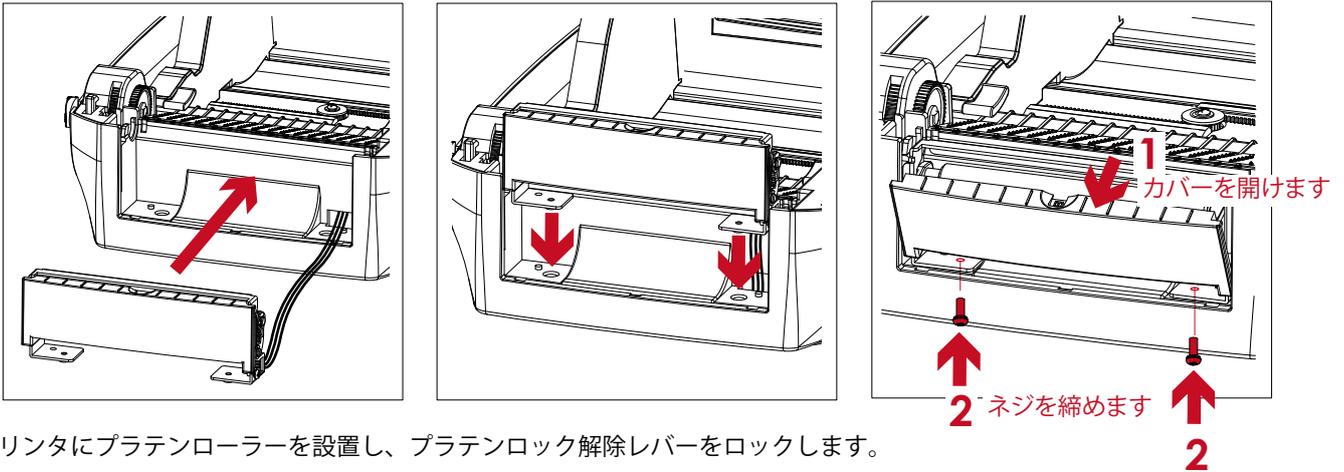


### 注意

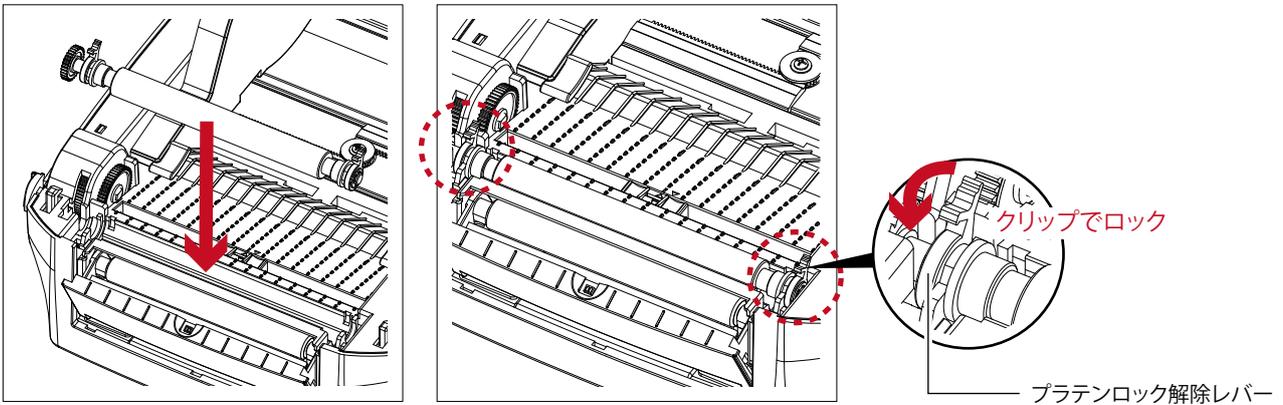
- \* 推奨ラベルは、厚み0.006mm ±10%、重量65 g/m<sup>2</sup> ± 6%
- \*\* 剥離ユニットの最大幅は118mm 送り方向25mm以上
- \*\*\* 剥離ユニットの停止位置は(プリンタコマンド ^E) 13

# 5 オプション

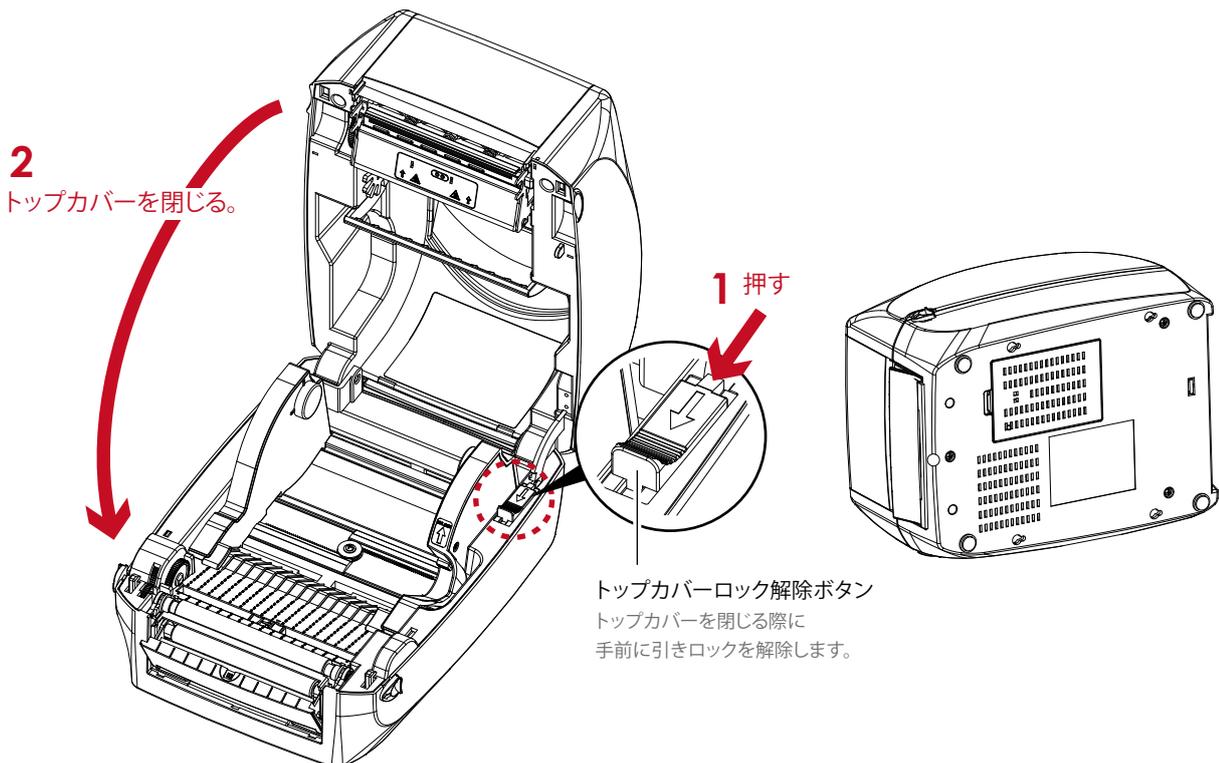
2. プリンタ側と剥離ユニットのネジ穴を合わせて、ネジをしめます。



3. プリンタにプラテンローラーを設置し、プラテンロック解除レバーをロックします。

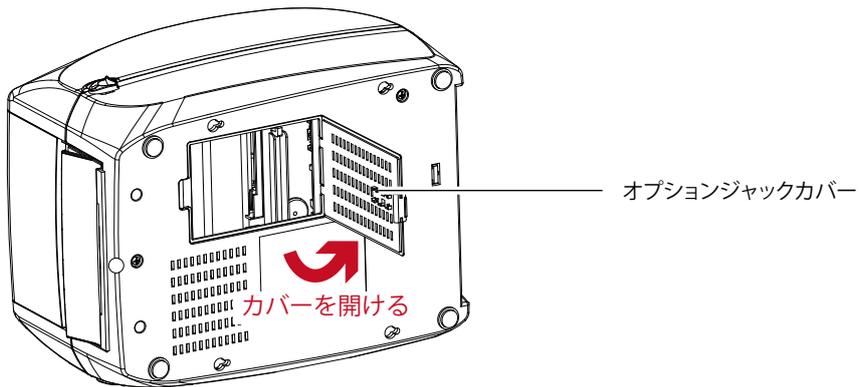


4. プリンタトップカバーを閉じます。  
その後、プリンタの電源を入れます。

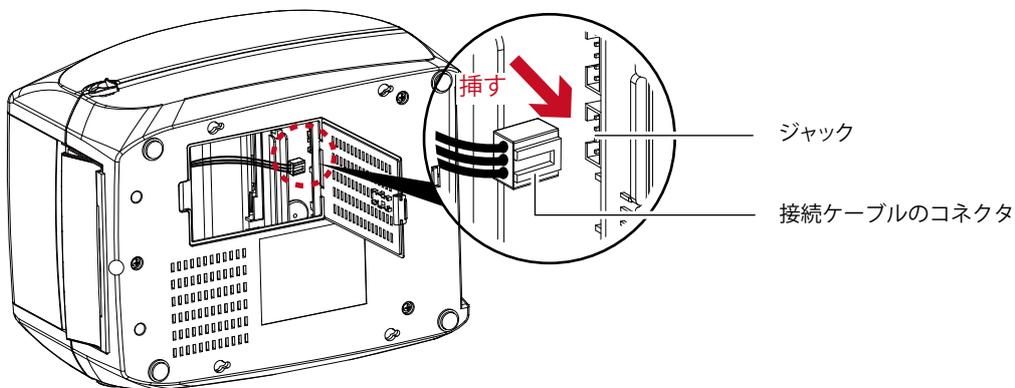


## 5 オプション

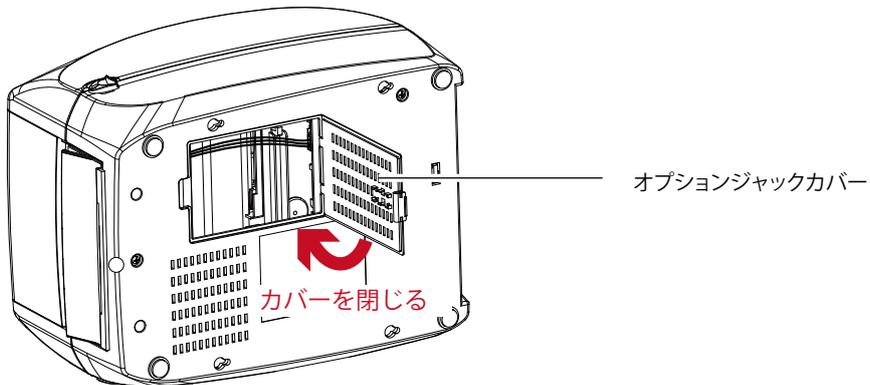
5. プリンタ底部のオプションジャックカバーを開けます。



6. 剥離ユニットのケーブルコネクタと接続します。



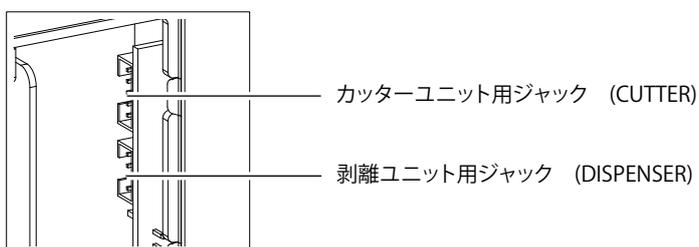
7. 接続ジャックのカバーを閉じます。



### 注意

\* コネクタを差し込むときは、プリンタをオフにしないと、マザーボードが破壊される可能性があります！

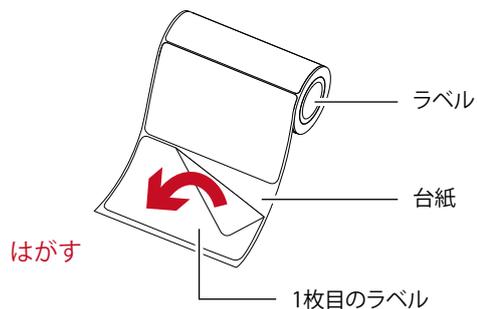
\*\* 2つのジャックがあります：下側は剥離ユニットのジャック、上はカッターユニットのジャック。



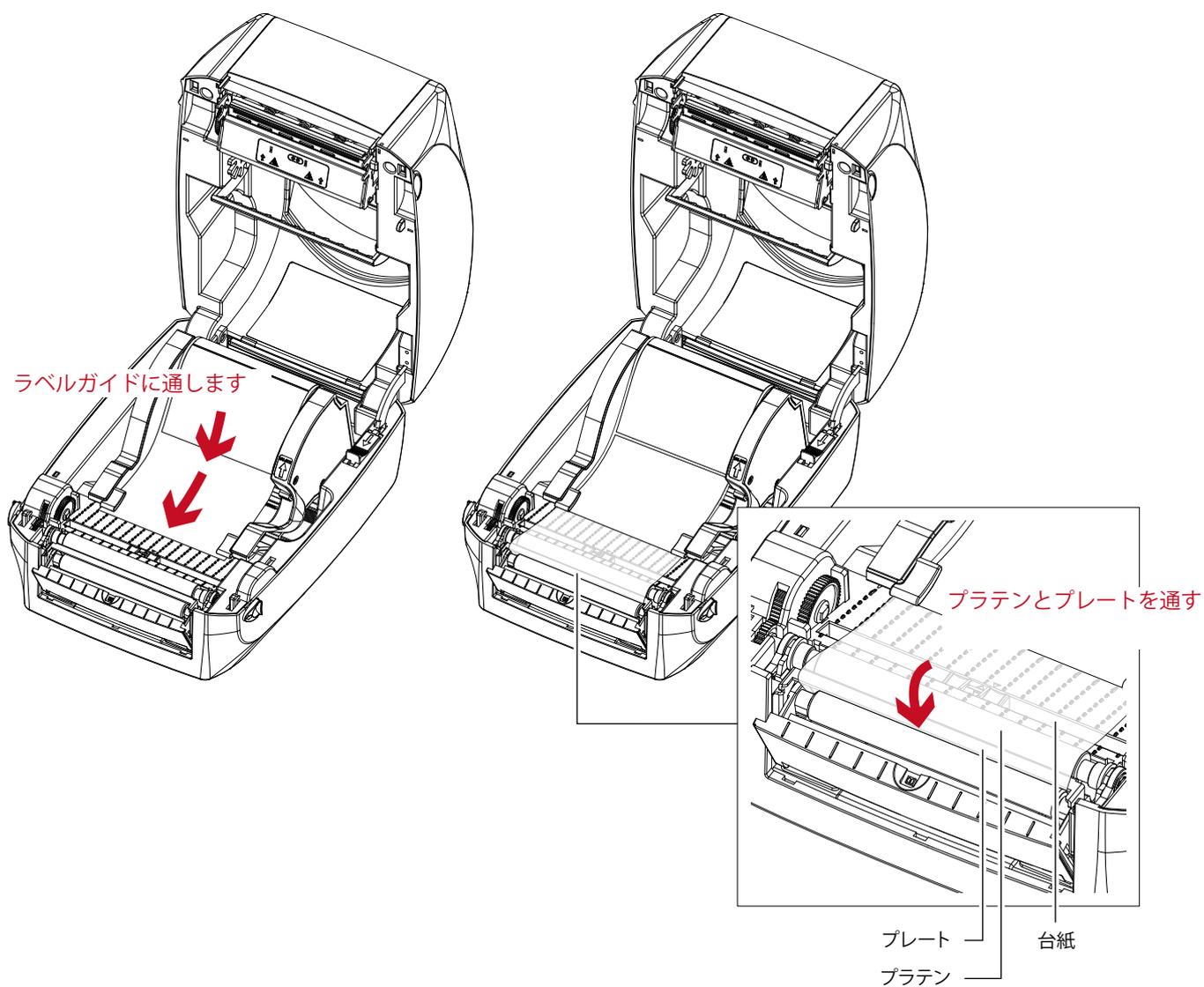
## 5 オプション

### 剥離ユニットとラベル

1. 1枚目のラベルを剥がします。



2. ラベルガイドにラベルを通して、フィードして剥離します。

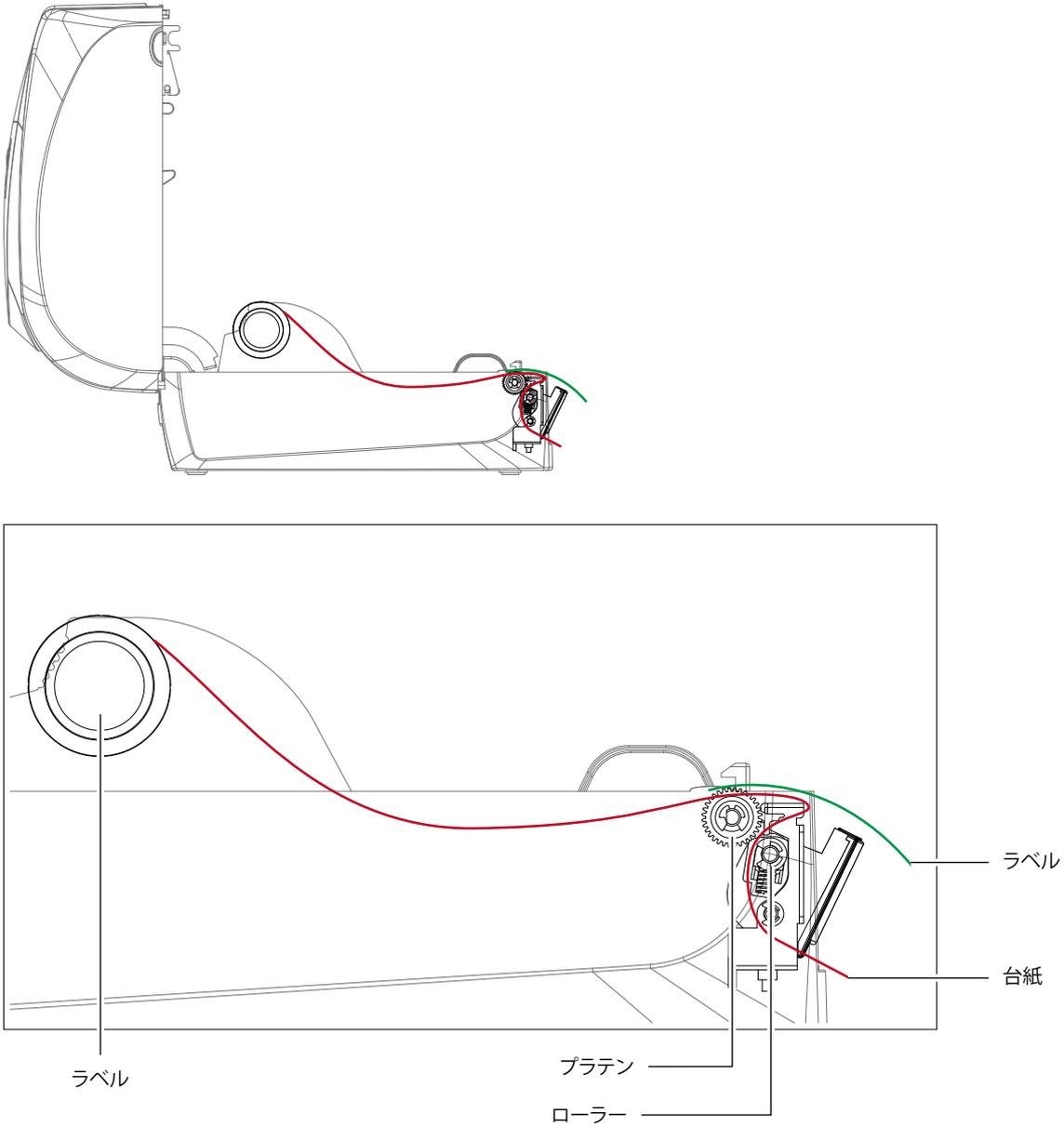


### 注意

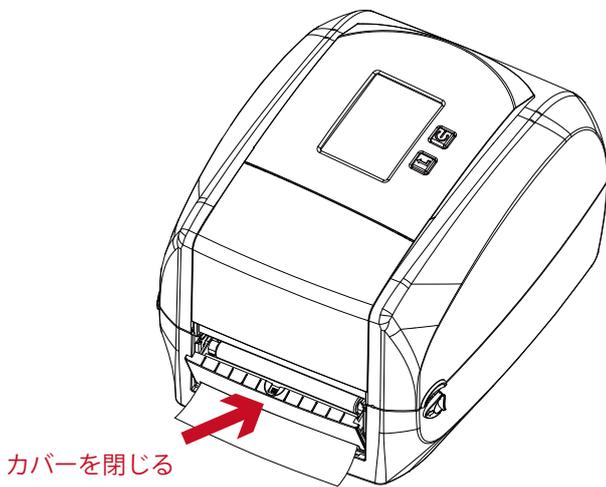
- \* ラベルの送りサイズは25 mm以上が必要です。

## 5 オプション

3. ラベルの設置は図の様にしてください。

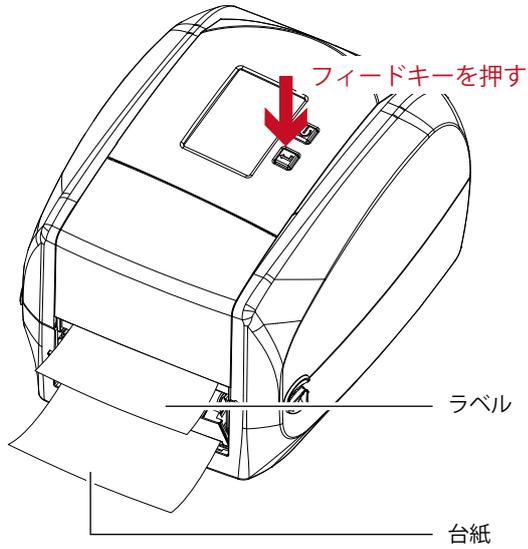


4. 剥離ユニットとプリンタを閉じます。これで設置完了です。



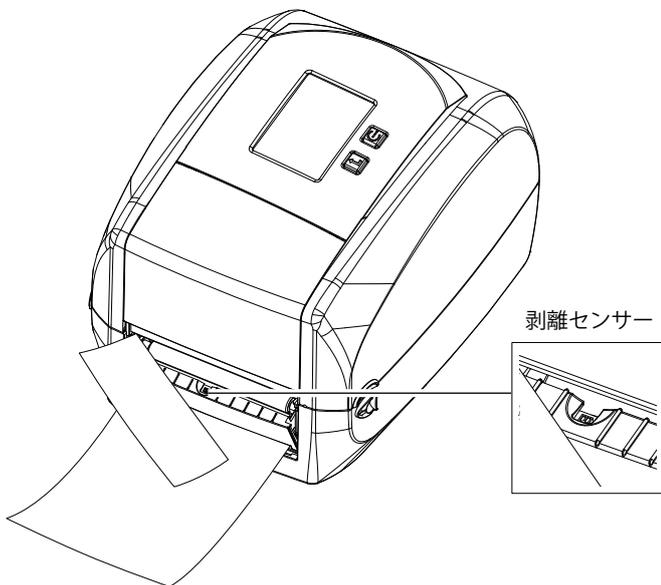
## 5 オプション

5. フィードボタンを押し、ラベルを送り出します。  
ラベルは剥離ユニットを通過させることにより台紙からはがされます。



### 注意

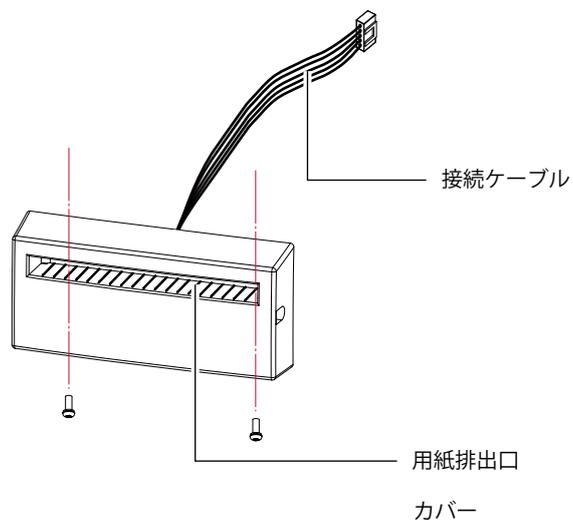
- \* 剥離ユニットの上部に剥離センサーがあります。剥離センサーの上に剥離されたラベルがかぶさっていると、次の印字動作は停止します。剥離されたラベルを取り除くと、次のラベルの印字を開始します。



# 5 オプション

## 5.3 カッターユニットの取り付け

### カッターユニット概要

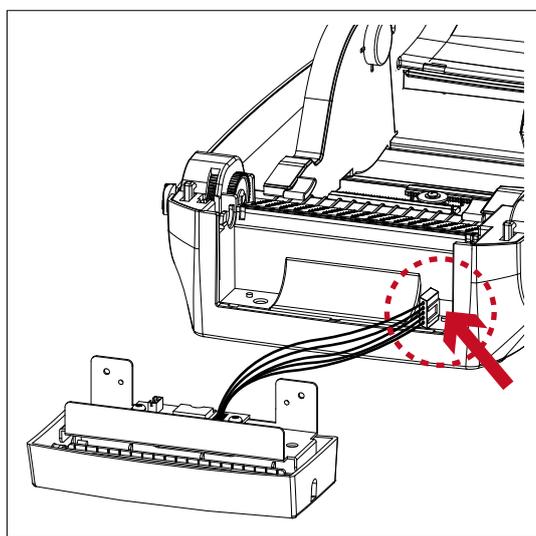


### 事前準備

カッターユニットを取り付ける事前準備として、5.1の項目を参照してください。

### カッターユニット取付方法

1. プリンタの前面スロットにケーブルを挿入します。

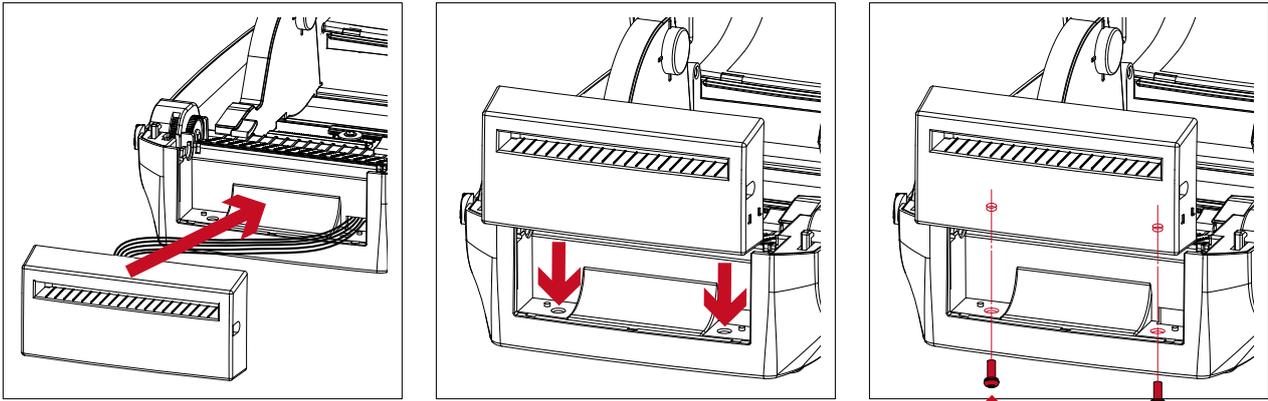


### 注意

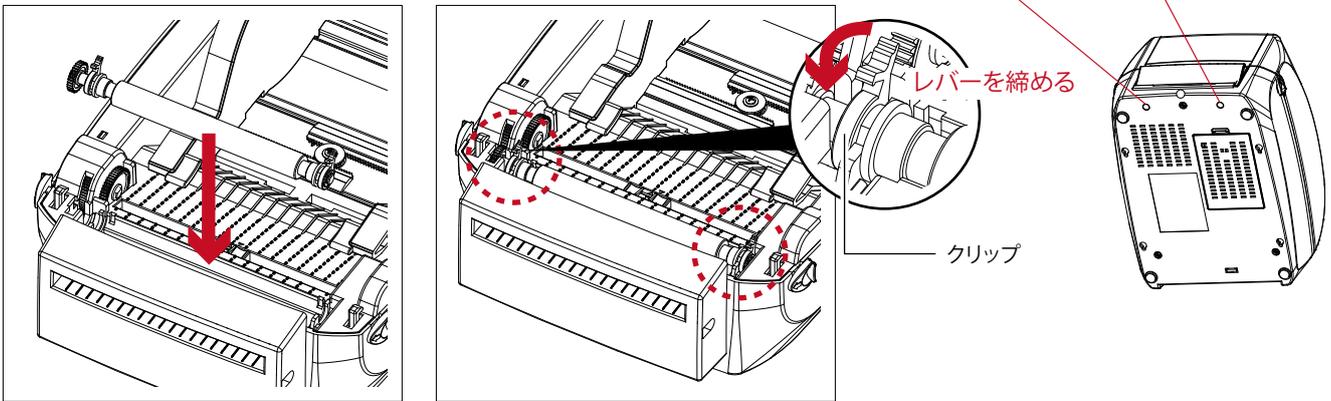
- \* カッター取付作業時には必ずプリンタの電源をお切りください。
- \*\* ラベルの粘着部分はカットしないでください。カッターの刃に糊が付着することにより、カット機能を弱めます。
- \*\*\* カットできる最大用紙幅は118mm 送り方向30mm以上です。
- \*\*\*\*カッターユニットを装着した場合、アプリケーションの停止位置の設定は30に設定してください。

# 5 オプション

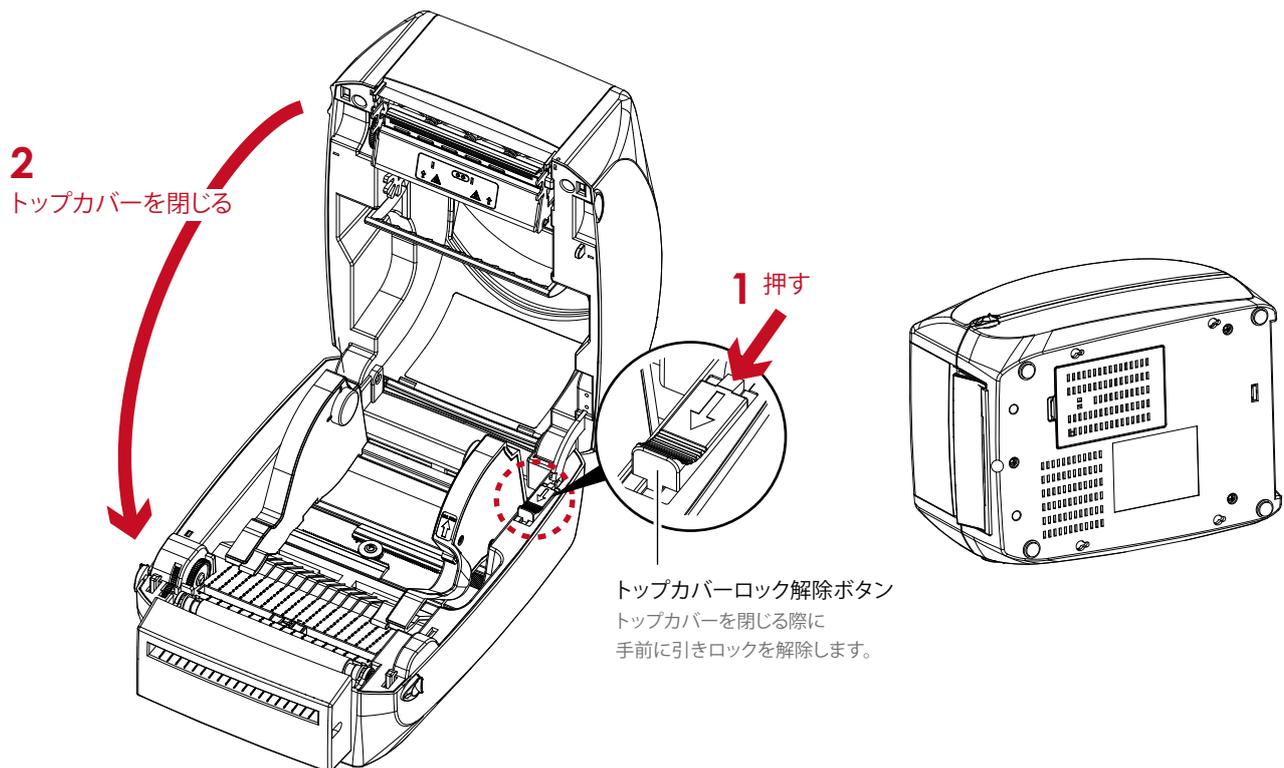
2. プリンタのねじ穴とカッターユニットのねじ穴を合わせて、ねじを締めます。



3. プラテンローラーをプリンタに戻し、レバーを締めます。

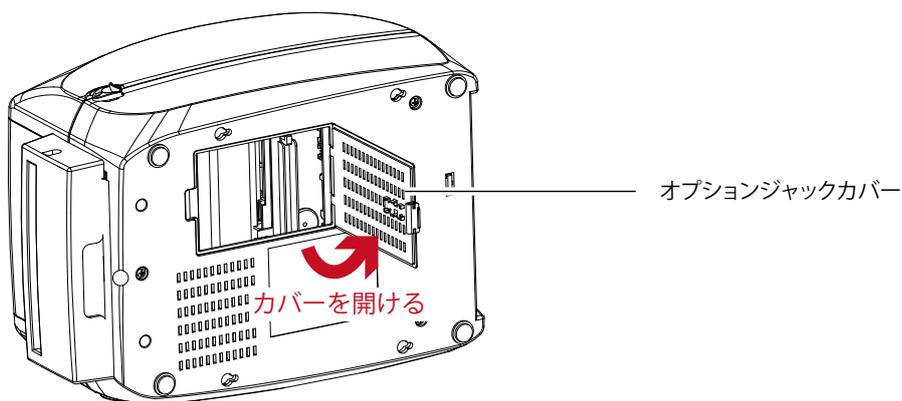


4. プリンタのトップカバーを閉じます。  
そして図のように横に寝かせます。

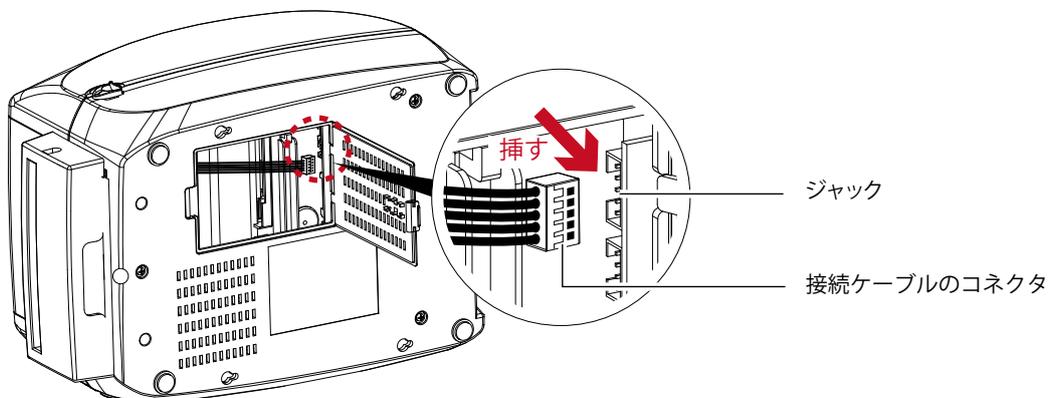


## 5 オプション

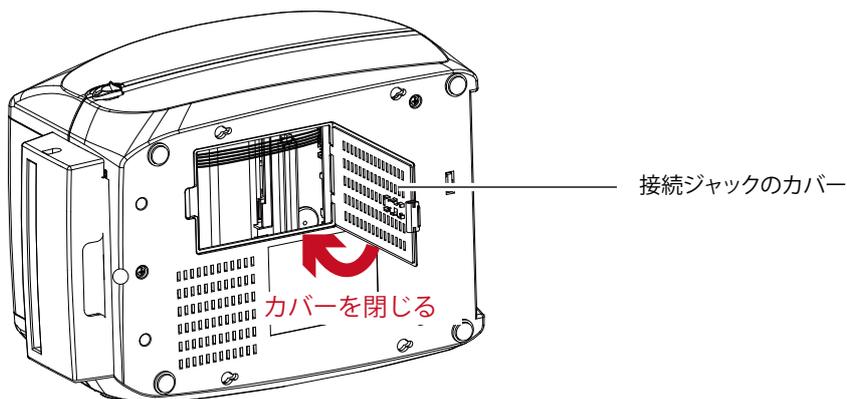
5. プリンタの底面のオプションジャックカバーを開けます。



6. カッターユニットのケーブルコネクタと接続します。



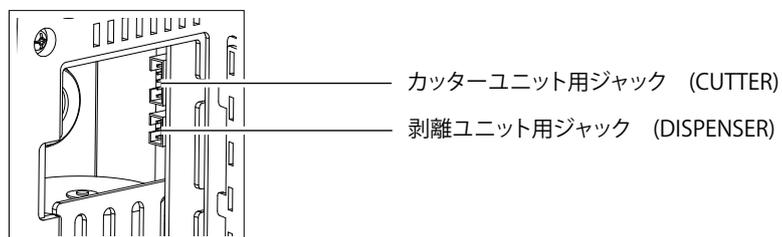
7. 接続ジャックのカバーを閉じます。



### 注意

\* 作業時は必ず電源をお切りください。マザーボードが故障する可能性があります。

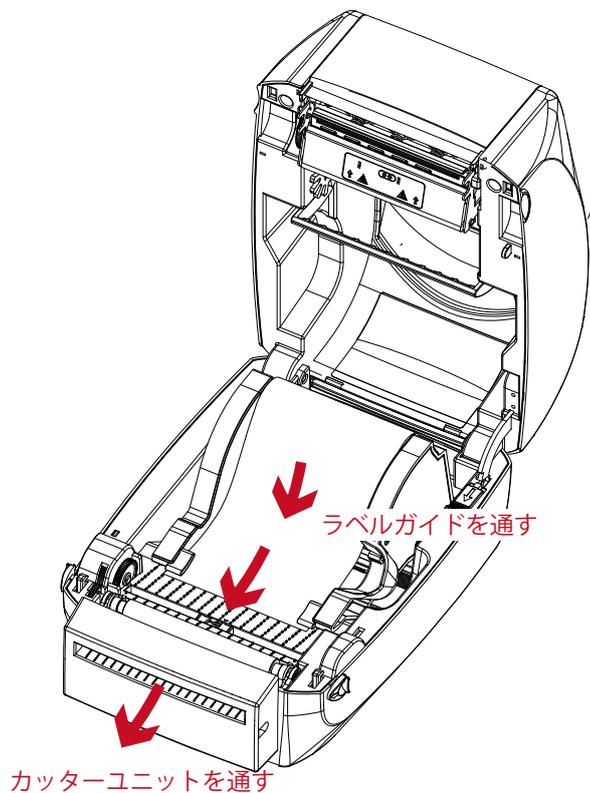
\*\* 2つのジャックがあります。下側は剥離ユニット用で、上側はカッターユニット用のジャックです。



## 5 オプション

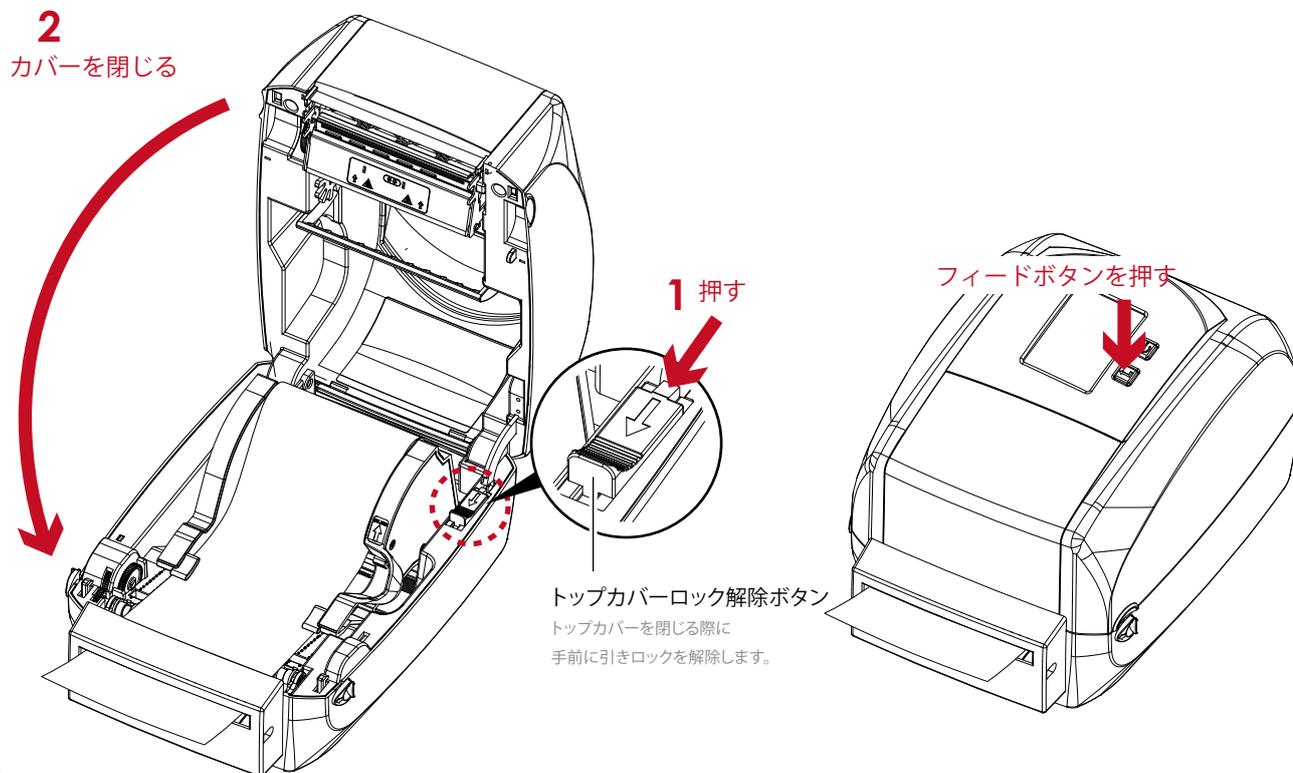
### ロールラベルのセット方法

1. ラベルの先をラベルガイドとカッターユニットに通します。



2. プリンタのトップカバーを閉じ、ラベルの位置を確定する為フィードボタンを押します。

### 2 カバーを閉じる



### 注意

- \* 内巻きラベルを使用することはお勧めできません。
- \*\* ラベルは送りが30mm以上のものをお使いください。カッターユニットを装着した場合アプリケーションの停止位置(△E)の設定は30に設定してください。

## 6 メンテナンス

### 6.1 サーマルヘッドの清掃

インクリボンの汚れやラベルの糊残りは、印字品質を損なう恐れがあります。

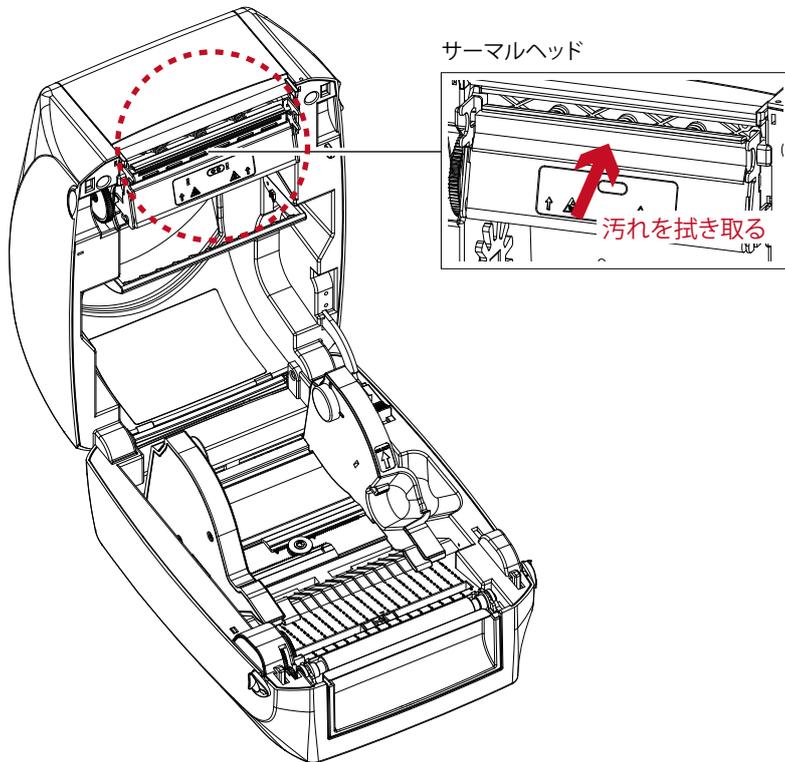
それを避けるために、使用中は必ずプリンタのカバーを閉じてください。

印字品質を保ち、サーマルヘッドを長持ちさせるためにラベルに汚れやホコリを付着させないようにしてください。

#### 清掃方法

サーマルヘッドの清掃方法は以下の通りです。

1. プリンタの電源を切ります。
2. プリンタのトップカバーを開きます。
3. リボンを外します。
4. サーマルヘッドからラベル残りや汚れを拭き取ります。（赤矢印の部分）  
その場合には無水エタノールを染み込ませた柔らかい布をお使いください。



#### 注意

\* サーマルヘッドは1週間に1回清掃してください。

\*\* サーマルヘッドを清掃する布に鉄粉や黒い粒子が付いていないか確認してください。

## 6.2 トラブルシューティング

症 状	対処方法
電源を投入しても液晶ディスプレイが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ACアダプタ及び電源コードを確認してください。 2.4を参照</li> </ul>
液晶ディスプレイにエラーが表示され印刷ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ソフト、プリンタドライバ、コマンドの設定を確認してください。</li> <li>◆ エラーメッセージを液晶ディスプレイで確認し3.5を参照してください。</li> <li>◆ プリントヘッドが正しく閉じているか確認してください。 2.1を参照</li> </ul>
用紙はフィードするが何も印刷されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ラベルが正しくセットされているか確認してください。 ラベルとリボンの材質が合っているか確認してください。</li> <li>◆ 正しいプリンタドライバを選択してください。</li> <li>◆ 正しいラベルと印刷モードを選択してください。</li> </ul>
ラベル詰りが起きる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 詰まったラベルを取り除き、サーマルヘッドやセンサーにラベルが付着していないか確認してください。サーマルヘッドの清掃やキャリブレーションを行ってください。 サーマルヘッドの清掃：6.1参照・キャリブレーション：3.4参照</li> </ul>
きれいに印刷されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ラベルとリボンの材質が合っているか確認してください。</li> <li>◆ アプリケーションにエラーが表示されていないか確認してください。</li> <li>◆ 開始位置が正しいか確認してください。</li> <li>◆ リボンのしわを確認してください。</li> </ul>
印刷されない部分がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ サーマルヘッドに汚れがないか確認してください。</li> <li>◆ ラベルやリボンの品質を確認してください。</li> </ul>
印刷位置がかわってしまう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ センサーにゴミなどが付着していないか確認してください。</li> <li>◆ ラベルが適切なものが確認してください。</li> <li>◆ ラベルガイドが正しいか確認してください。</li> </ul>
途中で印刷が止まる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ラベルサイズを確認してください。</li> <li>◆ センサーにゴミなどが付着していないか確認してください。</li> <li>◆ キャリブレーションを実行してください。 3.4を参照</li> </ul>
印刷がかすれる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 濃度調整を行ってください。</li> <li>◆ サーマルヘッドに汚れがないか確認してください。 6.1を参照</li> </ul>
カッターがまっすぐ切らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ラベルがまっすぐセットされているか確認してください。</li> </ul>
ラベルを最後までカットしない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ラベルの厚さが0.2mm以下であることを確認してください。</li> </ul>
ラベルをカットしない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ カッターユニットが正しく装着されているか確認してください。</li> <li>◆ ラベルガイドが正しいか確認してください。</li> </ul>
剥離ユニットが動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 剥離ユニットにゴミや汚れが無い確認してください。</li> <li>◆ ラベルが正しくセットされているか確認してください。</li> </ul>

# 付録

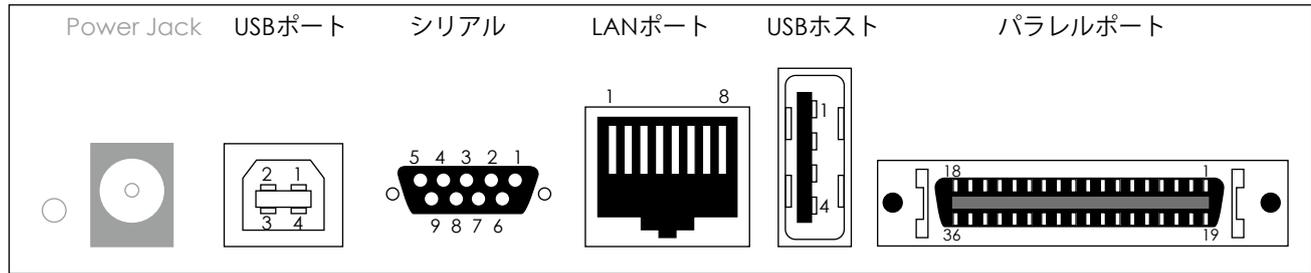
## 製品仕様

型式	KSW-BP860i	
印字方法	感熱・熱転写方式	
解像度	600dpi (23.6 dot/mm)	
印字速度	51~76.2mm/秒	
印字幅	105.6mm	
印字長	4~381mm	
CPU	ARM9 CPU	
メモリ	Flash	128MB Flash (ユーザー利用可能領域60MB)
	SDRAM	32MB
用紙センサー	反射センサー / 透過センサー	
用紙	形状	連続紙 / ギャップ付ラベル / ブラックマーク付ラベル
	幅	20mm~118mm
	厚さ	0.06mm~0.20mm
	外形	最大127mm
	コア	25.4mm ~38.1mm
リボン	形状	ワックス / レジン / セミレジン
	長さ	110m *印字面外巻推奨
	幅	30mm~110mm
	外形	40mm
ソフトウェア	コア	12.7mm
	ラベルデザイン	Easy Label
ドライバー	Windows XP / Vista / 7 / 8 / 8.1 / WindowsServer 2003 / 2008	
内蔵フォント	BMPフォント	11種類のBMPフォントを内蔵 (6,8,10,12,14,18,24,30,16X26,OCR-A,OCR-B) 水平・垂直方向に8倍まで拡大、4方向(0°,90°,180°,270°)に回転
	スケーラブルフォント	4方向(0°,90°,180°,270°)に回転
ダウンロードフォント	BMPフォント	4方向(0°,90°,180°,270°)に回転
	アジアフォント	水平・垂直方向に8倍まで拡大、4方向(0°,90°,180°,270°)に回転
スケーラブルフォント	4方向(0°,90°,180°,270°)に回転	
	1次元バーコード	Code 39, Code 93, Code 128 (subset A, B, C), UCC/EAN-128 K-Mart, UCC/EAN-128, UPC A / E (add on 2 & 5), I 2 of 5, I 2 of 5 with Shipping Bearer Bars, EAN 8 / 13 (add on 2 & 5), Codabar, Post NET, EAN 128, DUN 14, HIBC, MSI (1 Mod 10), Random Weight, Telepen, FIM, China Postal Code, RPS 128, GS1 DataBar
2次元バーコード	PDF417, Datamatrix code, MaxiCode, QR code, Micro QR code, Micro PDF417, Aztec code	
コードページ	Codepage 437,850,851,852,855,857,860,861,862,863,865,866,869,737 Windows 1250,1251,1252,1253,1254,1255,1257 Unicode(UTF8,UTF16)	
グラフィック	モノクロPCX, BMPに対応。アプリケーションによりその他のファイルもダウンロード可能。	
インターフェイス	USB2.0(B-Type) シリアルポート:RS-232C(DB-9) / パラレルポート:ミニセントロニクス LANポート:IEEE 802.3 10/100Base-Tx (RJ-45) USBホスト(Type-A)	
操作パネル	3.2インチ バックライト付きタッチパネル 電源ボタン コントロールボタン(フィード) キャリブレーションボタン	
時計機能	リアルタイムクロック搭載	
電源	AC100~240V・50/60Hz 自動切り替え	
環境条件	動作温度	5°C~40°C
	保管温度	-20°C~50°C
	動作湿度	20%~85% 結露無きこと
	保管湿度	10%~90% 結露無きこと
適合規格	CE(EMC), FCC ClassA, CB, cUL, CCC	
外形寸法	(W) 210mm (D) 280mm (H) 195mm	
重量	2.7 kg	
オプション	カッターユニット 剥離ユニット Bluetooth Wi-Fi(IEEE 802.11b/g/n) 外部巻き取り装置	

# 付録

## インターフェイス仕様

### ピン配列



#### • USBポート

コネクタタイプ: Type B

Pin NO.	1	2	3	4
	NC	D-	D+	GND

#### • シリアルポート

初期設定値 : ボーレート 9600、パリティなし、データビット8、ストップビット1  
XON/XOFF、RTS/CTS

RS232C Housing (9-pin to 9-pin)										
Pin NO.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Type
	+5V, max 500mA	TXD	RXD	N/C	GND	RTS	CTS	RTS	N/C	DB9 Plug
	-	RXD	TXD	DTR	GND	DSR	RTS	CTS	RI	DB9 Socket

#### • LANポート

Type : RJ45

Pin NO.	1	2	3	4	5	6	7	8
	TX+	TX-	RX+	NC	NC	RX-	NC	NC

#### • USBホスト

コネクタタイプ: Type A

Pin NO.	1	2	3	4
	VBUS	D-	D+	GND

#### • パラレルポート

Type : Centronics Female

Pin NO.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	BUZY	SELECT	ACK	FAULTN	LPT PERR	DATA0	DATA1	DATA2	DATA3	DATA4	DATA5	DATA6	DATA7	LPT INTN	STROB	SELIN	AUTO	NC
Pin NO.	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
	GND	GND	GND	GND	GND	GND	GND	GND	GND	GND	GND	GND	GND	GND	GND	GND	GND	5V

### Note

\* シリアルポートへの電流は500mAを超えないようにしてください。

# 付録

## USBメモリ使用の際にコマンド操作

### コマンド操作

プリンタ内部メモリとUSBメモリ間でファイルのコピーや移動を行うためには、プリンタコマンド"~MCPY"や"~MMOV"を使用します。

なお、プリンタコマンドを理解するには専門の知識が必要です。

#### ● コピー

コマンド	~MCPY,s:o,x,d:o,x
説明	USBメモリとプリンタ内部メモリ間でファイルのコピーを行います。
パラメーター	s = 転送元ソースの指定 ● "D" USBメモリ            "F" プリンタ内部メモリ d = 転送先ソースの指定 ● "D" USBメモリ            "F" プリンタ内部メモリ o = ファイル名 (オブジェクト名) : *全て x = ファイルタイプ : * = すべて、D = データベース、 A = アジアンフォント、C = TTFフォント、E = BMPフォント F = ラベルフォーマット、G = グラフィック、S = シリアル ファイル、T = テキスト、B = ユニコードテーブル
サンプル	~MCPY,F:*F,D:*F (プリンタ内部メモリの全てのフォーマットファイルを USBメモリにコピーします。)  ~MCPY,D:*G,F:*G (USBメモリの全てのグラフィックファイルを プリンタ内部メモリにコピーします。)  ~MCPY,D:*F,*F (USBメモリ全てのファイルを プリンタ内部メモリにコピーします。)

#### ● 移動

コマンド	~MMOV,s:o,x,d:o,x
説明	USBメモリとプリンタ内部メモリ間でファイルの移動を行います。
パラメーター	s = 転送元ソースの指定 ● "D" USBメモリ            "F" プリンタ内部メモリ d = 転送先ソースの指定 ● "D" USBメモリ            "F" プリンタ内部メモリ o = ファイル名 (オブジェクト名) : *全て x = ファイルタイプ : * = すべて、D = データベース、 A = アジアンフォント、C = TTFフォント、E = BMPフォント F = ラベルフォーマット、G = グラフィック、S = シリアル ファイル、T = テキスト、B = ユニコードテーブル
サンプル	~MMOV,F:*F,D:*F (プリンタ内部メモリの全てのフォーマットファイルを USBメモリに移動します。)  ~MMOV,D:*G,F:*G (USBメモリの全てのグラフィックファイルを プリンタ内部メモリに移動します。)  ~MMOV,D:*F,*F (USBメモリ全てのファイルを プリンタ内部メモリに移動します。)

**株式会社 システムウェーブ**  
[www.systemwave.jp](http://www.systemwave.jp)

本社

〒106-0031

東京都港区西麻布4-18-10

TEL：03-3406-9213 FAX：03-3406-9284

大阪営業所

〒532-0003

大阪府大阪市淀川区宮原4-4-64

新大阪千代田ビル8F

TEL：06-6150-3888 FAX：06-6150-3830